BUBBLE JET PRINTER

BJ F860

基本操作ガイド

Photo Realism™

ご使用前に必ずこの基本操作ガイドをお読みください。
将来いつでもご使用できるように大切に保管して下さい。

QA7-1371-V01 JPN

●本書で使用しているマークについて

本書では、安全に関する大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

：取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお読みください。

注意 **：取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお読みください。**

：取り扱いを誤った場合に、製品の故障や損傷、品質の低下が発生する恐れのある禁止事項が書かれています。快適に使用していただくために、必ずこの禁止事項をお守りください。

また、本書では下記の表記を使用しています。

note **：操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをお勧めします。**

Windows **：Windowsをお使いの場合にお読みください。**

Macintosh **：Macintoshをお使いの場合にお読みください。**

参照ページは、以下の表記を使用しています。

➡「使用できる用紙」(p.19)：本書のほかのページに、関連する内容が書かれています。お読みになることをお勧めします。

➡『かんたんスタートガイド』の「プリントヘッドの位置を調整する」(p.20)
：『　』内の説明書に、関連する内容が書かれています。お読みになることをお勧めします。

●商標について

・Canonは、キヤノン株式会社の登録商標です。BJは、キヤノン株式会社の商標です。
・Microsoft®、Windows®、Windows NT®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
・Macintosh、iMacは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
・Adobe、AcrobatはAdobe Systems Incorporatedの商標（地域によっては登録商標）です。
・その他の会社名および製品名は、一般に各社の登録商標または商標です。

●説明書について

・Microsoft® Windows® 95、Microsoft® Windows® 98、Microsoft® Windows® Millennium Edition、Microsoft® Windows NT® 4.0、Microsoft® Windows® 2000を、それぞれWindows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT 4.0、Windows 2000またはWindowsと略して記載しています。
・本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
・本書の内容に関しては、将来予告なしに変更される場合があります。
・本書は内容について万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどでお気づきの点がございましたら、キヤノンお客様相談センターまでご連絡ください。電話番号は、別紙の『ご相談窓口のご案内』に記載しています。
・このプリンタを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器に関する日本および米国共通の省エネルギーのためのプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費が比較的少なく、その消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は日米で統一されています。

目　次

安全にお使いいただくために ……………2
説明書の使いかた ……………………6
USBケーブルでプリンタを接続されている方へ…9
各部の名称と役割……………………10

1章　印刷してみましょう

印刷の前に………………………12
印刷してみましょう Windows …………12
はがきに印刷するときは Windows ………15
印刷してみましょう Macintosh …………17
はがきに印刷するときは Macintosh ………19

2章　用紙について

使用できる用紙……………………21
用紙をセットする…………………23

3章　インクの交換と プリンタのメンテナンス

インクタンクを交換する………………25
プリントヘッドをメンテナンスする ……27
　プリントヘッドをメンテナンスする …………27
　ノズルチェックパターンを印刷する Windows ‥28
　ノズルチェックパターンを印刷する Macintosh ‥29
　プリントヘッドをクリーニングする Windows ‥31
　プリントヘッドをクリーニングする Macintosh ‥32
　プリントヘッドをリフレッシングする Windows …………34
　プリントヘッドをリフレッシングする Macintosh …………35
　プリントヘッドの位置を調整する Windows ‥‥37
　プリントヘッドの位置を調整する Macintosh ‥‥38
　ヘッド位置調整パターンの見かた …………40
プリンタを清掃する…………………41
　プリンタの排紙口を清掃する ………………41
　給紙ローラをクリーニングする Windows ‥‥‥42
　給紙ローラをクリーニングする Macintosh ‥‥‥43

4章　こんなときはどうする?

どんな症状ですか?…………………45
プリンタドライバがインストールできない …………46
印刷できない…………………………46
印刷を中止したい……………………48
用紙がつまった………………………49
オートシートフィーダの用紙が送られない …………49
画面にエラーメッセージが表示されている …………50
ランプが点滅している………………53
印刷結果に満足できない……………54
写真をもっときれいに印刷したい………56
その他のトラブル……………………56

付録…………………………………57
　スキャナカートリッジ IS-52を使う …………57
　印刷速度を速くしたいときは （プリンタケーブル接続） Windows …………65
　インストールの途中で先の画面に進めなくなったときは （USBケーブル接続） Windows ……………66
　仕様 ……………………………69
　プリンタドライバの動作環境 ………………71
　環境基本性能 ……………………………71
　お問い合わせの前に ………………………72

Windowsをご使用の方へ

本書に掲載されているプリンタドライバの設定画面は、おもにWindows 98で使用する場合の画面です。Windows 95/Windows Meで使用する場合も、ほとんど同じ設定画面が表示され、操作方法も変わりありません。
Windows NT4.0/Windows 2000で使用する場合は、操作方法に違いがあります。詳細は、Windows NT/Windows 2000用プリンタドライバに付属している、ドキュメントファイル（Windows 2000/Windows NT4.0プリンタドライバガイド）またはプリンタドライバのヘルプをご覧ください。
ドキュメントファイルを開くには、プリンタドライバのインストール完了後、Windowsの「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」、「BJ Fxxx（xxxはプリンタ名）」、「操作説明」を順に選択します。

⚠安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、本書の注意事項を必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

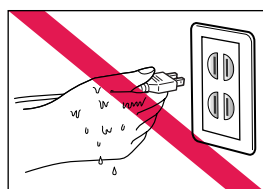
⚠警告

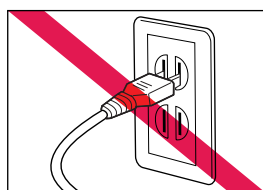
設置場所について

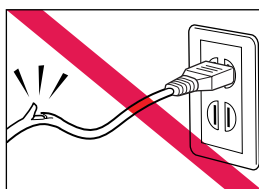
アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。

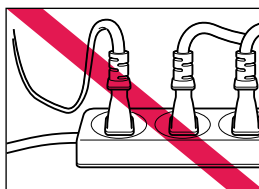
引火性溶剤が内部の電気部品に触れると火災や感電の原因になります。

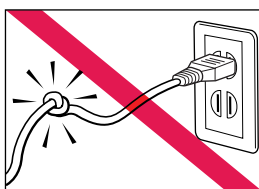
電源について

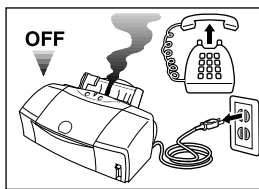
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。

電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。

差し込みが不十分だと、火災や感電の原因になります。

電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないでください。また電源コードに重い物をのせないでください。

傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。

ふたまたソケット等を使ったタコ足配線は行わないでください。

火災や感電の原因になります。

電源コードを束ねたり、結んだりして使用しないでください。

火災や感電の原因になります。

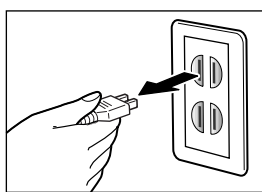
万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。販売店または修理サービスご相談窓口までご連絡ください。

警告

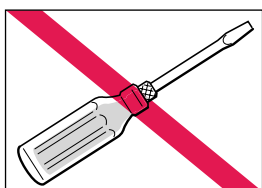
清掃について

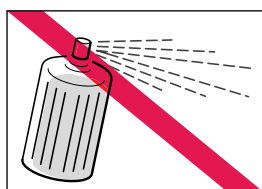
清掃のときは、水で湿らせた布を使用してください。アルコール・ベンジン・シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。

プリンタ内部の電気部品に接触すると火災や感電の原因になります。

清掃のときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

誤って電源ボタンを押してしまうと、作動した内部の部品に触れてけがの原因になることがあります。

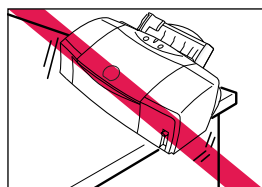
その他

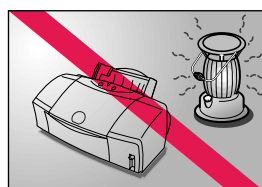
プリンタを分解・改造しないでください。

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。

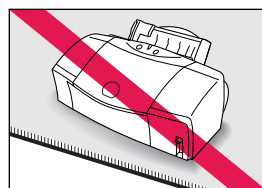
プリンタの近くでは可燃性のスプレー等は使用しないでください。

スプレーのガスが内部の電気部分に触れて、火災や感電の原因になります。

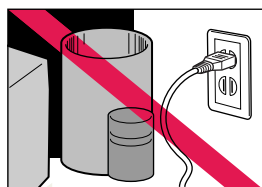
注意

設置場所について

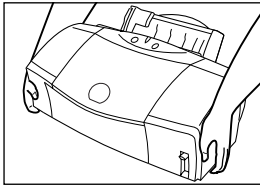
不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。

プリンタが落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、高温や火気の近くには設置しないでください。

火災や感電の原因になることがあります。周囲の温度が5～35℃、湿度が10～90%RH（結露しないこと）の範囲の場所でお使いください。

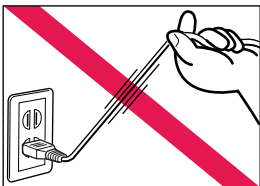
毛足の長いじゅうたんやカーペットなどの上には設置しないでください。

毛やほこりなどが製品の内部に入り込んで火災の原因になることがあります。

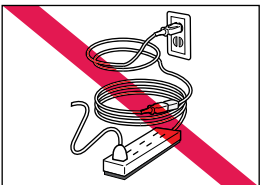
いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの回りには物を置かないでください。

万一プリンタに異常が起きたとき、すぐに電源コードがはずせないため、火災や感電の原因になることがあります。

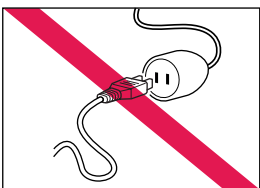
注意

プリンタを持ち運ぶときは、必ず両側下部分を両手でしっかりと持ってください。

他の場所で持つと不安定なため、落としてけがの原因になることがあります。

電源について

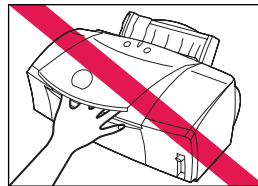
電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

コードを引っぱると電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

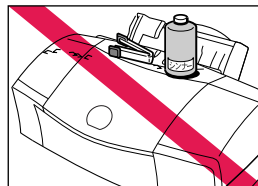
延長電源コードは使用しないでください。

火災や感電の原因になることがあります。

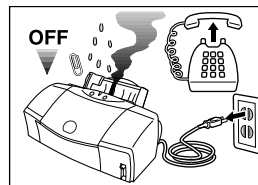
AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。

火災や感電の原因になることがあります。なおプリンタの動作条件は次のとおりです。この条件に合った電源でお使いください。

電源電圧：AC100V
電源周波数：50/60Hz

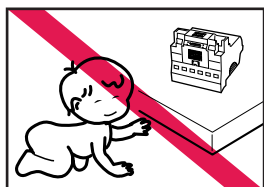
その他

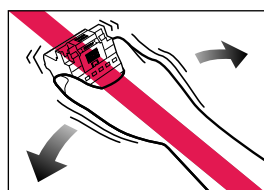
印刷中はプリンタの中に手を入れないでください。

内部で部品が動いているため、けがの原因になることがあります。

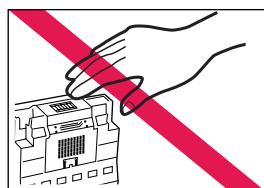
プリンタの上にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤(アルコール・シンナー等)の入った容器を置かないでください。

プリンタ内部に落ちたりこぼれたりすると、火災や感電の原因になることがあります。

万一、異物(金属片・液体等)がプリンタ内部に入った場合は、プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または修理サービスご相談窓口までご連絡ください。

そのまま使用を続けると火災や感電の原因になることがあります。

プリントヘッド／インクタンクについて

安全のため、お子様の手の届かないところへ保管してください。

誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、ただちに医師にご相談ください。

プリントヘッドやインクタンクを落としたり振ったりしないでください。

インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。

印刷後、プリントヘッドの金属部分には触れないでください。

熱くなっている場合があり、やけどの原因になることがあります。

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

蛍光灯などの電気製品の近くに置くときのご注意

蛍光灯などの電気製品とプリンタは約15cm以上離してください。近づけると蛍光灯のノイズが原因でプリンタが誤作動することがあります。

電源を切るときのご注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずランプが消えていることを確認してください。ランプが点灯・点滅しているときに電源プラグをコンセントから抜いて切ると、その後印刷できなくなることがあります。

プリンタを長時間使わないときは

プリンタを長時間使わないときは、電源を切ったあと、電源プラグをコンセントから抜いてください。

説明書の使いかた

このプリンタには、いくつかの説明書が用意されています。ここでは、各説明書の概要とリファレンスガイドやヘルプ機能の操作方法について説明します。

◎各説明書について

以下の説明書が用意されています。用途にあわせてご覧ください。

最初にお読みください

●かんたんスタートガイド

プリンタの設置から印刷の準備まで、はじめてプリンタを使うときに必要な設定について説明しています。
まだ、プリンタの設置や接続、プリンタドライバのインストールなどが終わっていない場合は、『かんたんスタートガイド』にしたがって、印刷の準備を行ってください。

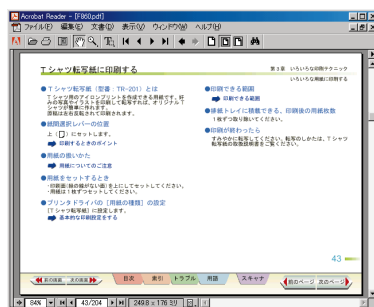
●基本操作ガイド(本書)

『かんたんスタートガイド』で印刷の準備が完了したあとに読む説明書です。
普通紙やはがきを使った基本的な印刷方法、お手入れの方法、困ったときの対処方法など、日常の操作に必要な基本事項を説明しています。
また、別売品のカラーイメージスキャナカートリッジ（IS-52）の使いかたについても説明しています。

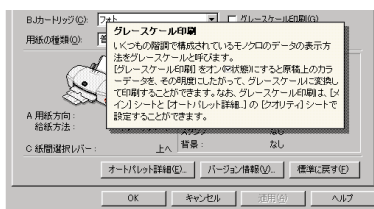
●リファレンスガイド（電子マニュアル）

コンピュータの画面で見る説明書です。
いろいろな用紙を使った印刷方法、プリンタドライバの詳細な設定方法、別売品のカラーイメージスキャナカートリッジ(IS-52)の詳しい使い方などを説明しています。

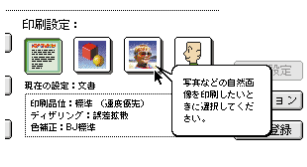
➡「リファレンスガイドの使いかた」(p.7)

この説明書をご覧になるには、Adobe Acrobat Readerが必要です。Adobe Acrobat Readerは、付属の『プリンタドライバ/リファレンスガイド（CD-ROM)』を使ってインストールすることができます。インストール方法については、CD-ROMに入っている説明書をお読みください。

●プリンタドライバのヘルプ Windows

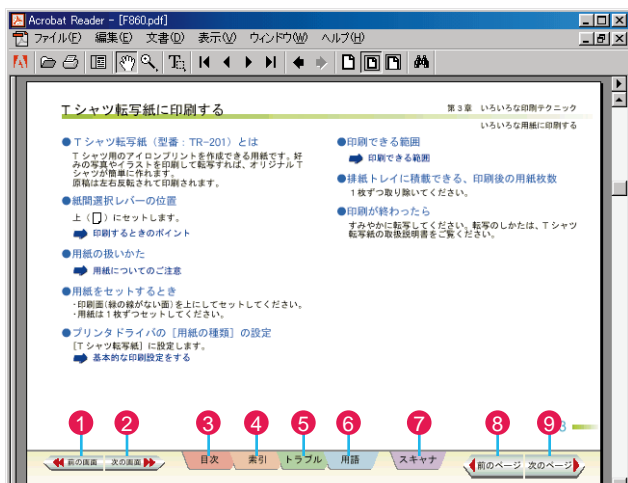
プリンタドライバの設定画面を開いているときに操作方法がわからなくなった場合、ご覧になると便利です。プリンタドライバの各機能について説明しています。

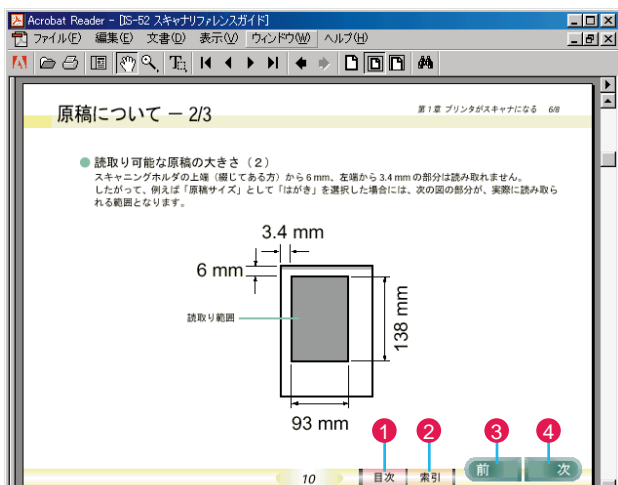
➡「プリンタドライバのヘルプの使いかた」(p.8)

●バルーンヘルプ Macintosh

プリンタドライバの各設定項目の意味や役割がわからない場合、表示すると便利な機能です。各設定項目の説明をバルーンの形で説明します。

➡「バルーンヘルプについて」(p.8)

リファレンスガイドの使いかた

リファレンスガイドの表示方法については、『プリンタドライバ／リファレンスガイド（CD-ROM）』に付属の説明書をご覧ください。ここでは、リファレンスガイドの画面の各ボタンについて説明します。なお、Adobe Acrobat Readerの各機能については、Acrobat Readerの説明書をご覧ください。

●プリンタドライバリファレンスガイド

❶ 前の画面：前に表示していた画面に戻ります。
❷ 次の画面：画面を一つずつ進むことができます。前の画面 ボタンで前に表示していた画面に戻った場合に使います。
❸ 目次：目次を表示します。
❹ 索引：索引を表示します。
❺ トラブル：「困ったときには」を表示します。プリンタの使用中にトラブルが起こって困ったときに、クリックしてください。
❻ 用語：リファレンスガイドに出てくる用語について説明します。
❼ スキャナ：IS-52リファレンスガイド（スキャナリファレンスガイド）の目次を表示します。
❽ 前のページ：前のページを表示します
❾ 次のページ：次のページを表示します。

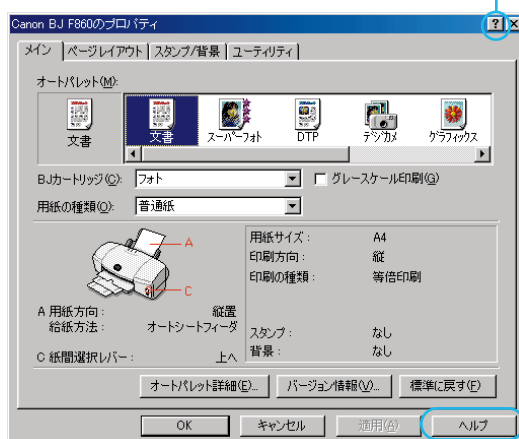
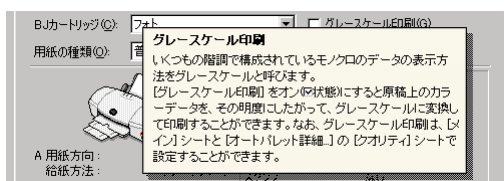
●IS-52リファレンスガイド（スキャナリファレンスガイド）

❶ 目次：目次を表示します。
❷ 索引：索引を表示します。
❸ 前：前のページを表示します。
❹ 次：次のページを表示します。

プリンタドライバのヘルプの使いかた Windows

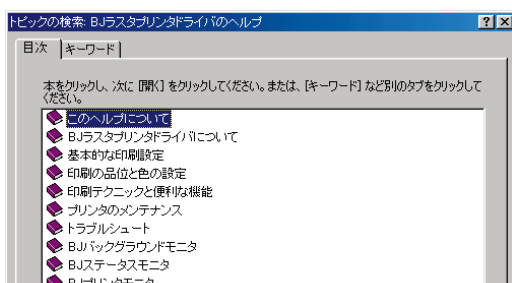
プリンタドライバの設定画面を表示しているときに操作がわからなくなった場合は、ヘルプ機能を使うと便利です。
ヘルプには、操作説明を見るためのヘルプと、設定項目の説明を見るためのヘルプの2種類があります。ここでは、各ヘルプの表示方法について説明します。

●設定項目の説明を見るためのヘルプ

「この項目は、どのようなときに設定するのか知りたい」という場合に役立つヘルプです。

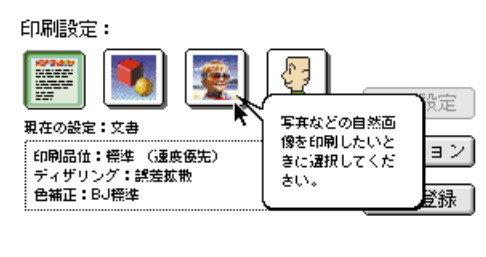
?をクリックし、マウスカーソルの形が?に変わったら、見たい項目でクリックします。クリックした項目の意味と役割が表示されます。

●操作説明を見るためのヘルプ

「プリンタドライバの設定を変えたいが、どこを操作すればよいのかわからない」という場合に役立つヘルプです。

[ヘルプ]をクリックすると説明が表示されます。目次やキーワードから説明を探すことができます。

バルーンヘルプについて Macintosh

プリンタドライバの各設定項目の意味や役割がわからない場合、表示すると便利な機能です。各設定項目の説明をバルーンの形で説明します。

1 **画面上部の［ヘルプ］メニューから［バルーン表示］を選択する**
［バルーン表示］［バルーン非表示］は選択するたびに切り替わります。

2 **説明を見たい項目にマウスカーソルをあわせる**
バルーンの形で説明が表示されます。

USBケーブルでプリンタを接続されている方へ

USBケーブルでプリンタを接続してお使いになる場合は、次の点にご注意ください。

●次のときは、USBケーブルの抜き差しをしないでください。

・プリンタドライバのインストール中
・コンピュータの電源を入れて、OS(WindowsまたはMac OS)が起動するまでの間
・プリンタが印刷中

USBケーブルは、コンピュータやプリンタの電源が入っているときでも、ケーブルの抜き差しが行えます。ただし、上の場合にケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやプリンタが正しく動作しなくなる場合があります。

●USBケーブルの抜き差しは、5秒以上の間隔をあけてください。

コンピュータやプリンタの電源が入っている状態でUSBケーブルを抜き差しするときは、必ず抜いてから5秒以上の間隔をあけて差すようにしてください。抜いてからすぐにケーブルを差し込むと、正しく動作しないことがあります

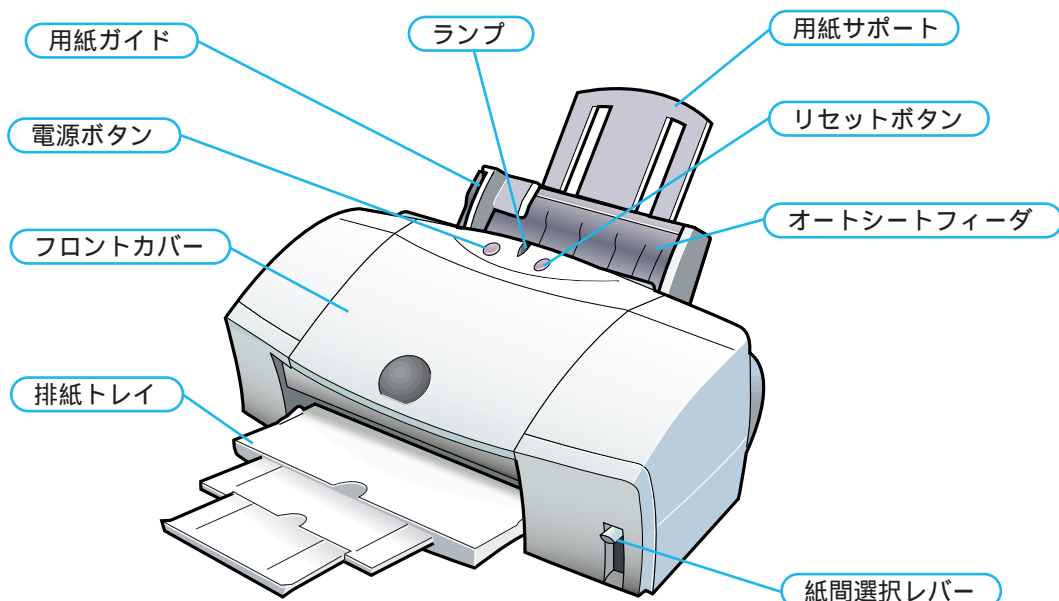
●コンピュータに複数のプリンタを接続するときは、1台ずつ接続してください。

USBケーブルを使って、1台のコンピュータに複数のプリンタを接続することが可能です。この場合は、1台ずつ接続し、接続するごとにプリンタドライバのインストールを行ってください。

●コンピュータやプリンタの電源が入っている状態でUSBケーブルを抜き差しするときは、コンピュータ側（またはUSBハブ側）を抜き差ししてください。

USBケーブルは、プリンタ側のコネクタでは抜き差ししないでください。

各部の名称と役割

●前　面

用紙ガイド
用紙をセットしたとき、用紙の端に軽く当てます。

用紙サポート
オートシートフィーダにセットされた用紙を支えます。用紙をセットするときに、引き出してください。

オートシートフィーダ
ここに用紙をセットします(厚紙は除く)。複数枚の用紙をセットした場合は、自動的に一枚ずつ給紙されます。

フロントカバー
プリントヘッドやインクタンクを交換するときに開けます。

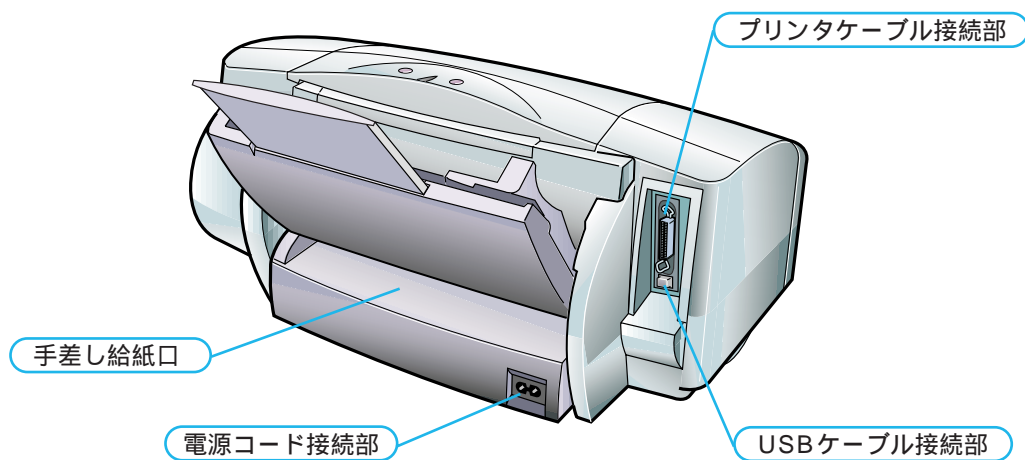
紙間選択レバー
プリントヘッドと用紙の間隔を調整するためのレバーです。用紙の種類によって、レバーの位置を切り替えます。
➡「紙間選択レバーの位置」(p.24)

排紙トレイ
印刷された用紙がここに排出されます。印刷するときは必ず引き出してください。
印刷しないときは、閉じておくことができます。

電源ボタン
電源を入れたり切ったりするためのボタンです。

ランプ
電源を入れると緑色に点灯します。ランプは、緑色やオレンジ色に点灯・点滅し、プリンタの状態を知らせます。

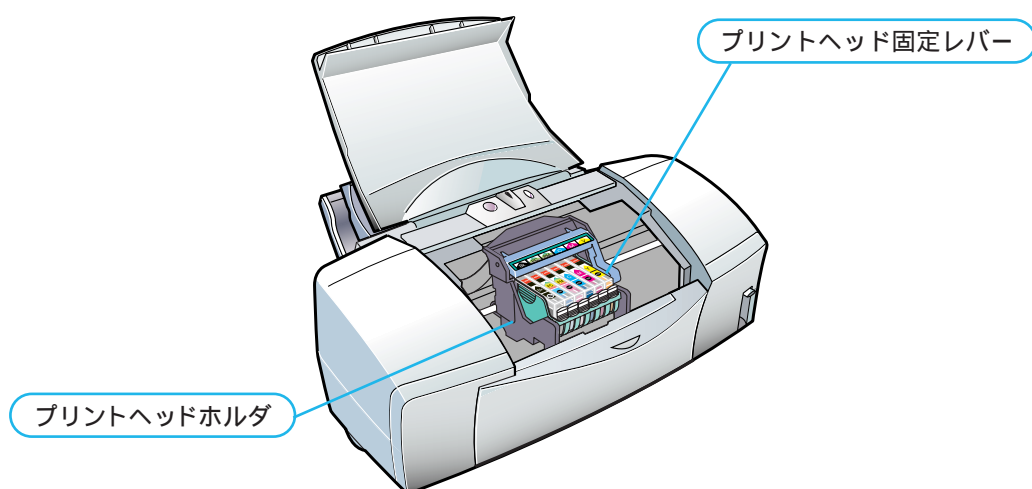
リセットボタン
プリンタのトラブルが解決したら、このボタンを押して印刷できる状態に戻します。また、印刷中に押すと、印刷を中止することができます。

●背　面

プリンタケーブル接続部
プリンタケーブル(パラレルケーブル)を使ってコンピュータと接続するためのコネクタです。

USBケーブル接続部
USBケーブルを使ってコンピュータと接続するためのコネクタです。

手差し給紙口
手差しで印刷するときは、ここに用紙をセットします。用紙は1枚ずつセットしてください。

電源コード接続部
電源コードを接続するためのコネクタです。

●内　部

プリントヘッドホルダ
プリントヘッドまたはスキャナカートリッジを取り付ける場所です。

プリントヘッド固定レバー
プリントヘッドホルダにセットされたプリントヘッドまたはスキャナカートリッジを固定します。プリントヘッドまたはスキャナカートリッジを交換するときは、レバーを上げます。

1章 印刷してみましょう

『かんたんスタートガイド』に沿って印刷の準備が終了したら、さっそく印刷をしてみましょう。
この章では、一般的な印刷の手順と、はがきに印刷するときの手順を説明します。

印刷の前に

印刷をはじめる前に、次の準備が終わっているか、確認しましょう。

- プリンタとコンピュータの接続 ………………………… 『かんたんスタートガイド』(p.4)
- プリントヘッドとインクタンクの取り付け ………………… 『かんたんスタートガイド』(p.7)
- プリンタドライバのインストール ……………………… 『かんたんスタートガイド』(p.12)
- プリントヘッドの位置調整 ………………………………… 『かんたんスタートガイド』(p.18)

プリンタの電源が入っているかも確認してください。

準備が終わったら、さっそく印刷をしてみましょう。
Windowsをお使いの場合→「印刷してみましょう Windows」(p.12)
Macintoshをお使いの場合→「印刷してみましょう Macintosh」(p.17)

印刷してみましょう Windows

ここでは、印刷の手順について説明します。

1 印刷したい原稿を作成（または表示）する

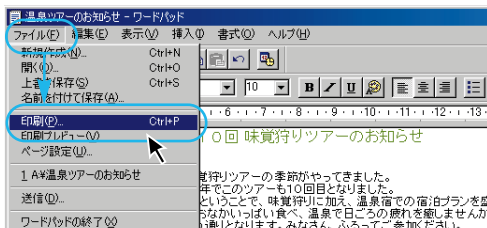
このとき、印刷する用紙のサイズを、アプリケーションソフトで設定しておきます。

2 プリンタに用紙をセットする

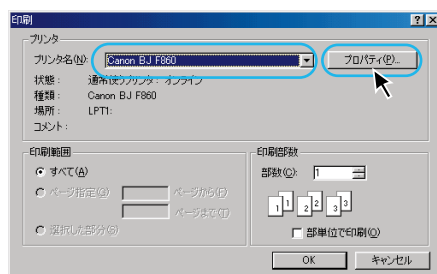
→「用紙をセットする」(p.23)

3 印刷画面を開く

一般に、[ファイル]メニューから[印刷]を選ぶと表示されます。

note アプリケーションソフトによっては操作方法が異なります。印刷画面の開きかたについては、アプリケーションソフトに付属の説明書をご覧ください。

4 [プリンタ名]を確認して[プロパティ]をクリックする

プリンタドライバの設定画面が表示されます。

note [プリンタ名]に、接続しているプリンタの名称が表示されていない場合は ▼ をクリックして、プリンタを選択してください。

5 印刷の設定をする

❶ 印刷の目的に適したアイコンを選択する

➡「プリンタドライバの設定画面について」（p.14）

note Windows NT4.0／Windows 2000をお使いの場合は、[基本設定] シートで [用紙の種類] を選択し、手順❸に進んでください。

❷ 使用する用紙を選択する

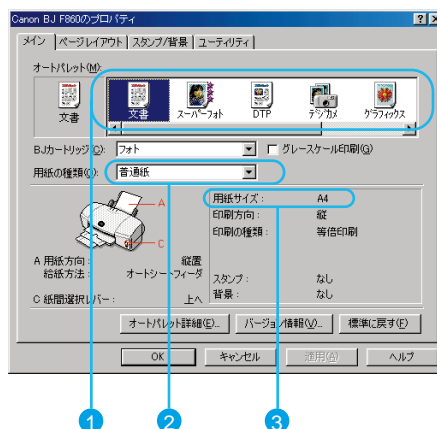
note 手順❶で［スーパーフォト］や［デジカメ］［グラフィックス］を選んだ場合は自動的に専用紙に設定されます。ご使用の用紙にあわせて設定を変更してください。

❸ 用紙サイズを確認する

note
- アプリケーションソフトで設定したサイズと異なる場合は、画面上部の[ページレイアウト]タブをクリックし、用紙サイズを変更してください。
- Windows NT4.0／Windows 2000をお使いの場合は、[ページ設定]タブをクリックして、用紙サイズを確認してください。

❹ [OK]をクリックする

6 手順4の画面に戻ったら[OK]をクリックする

印刷が始まります。

印刷を中止するには

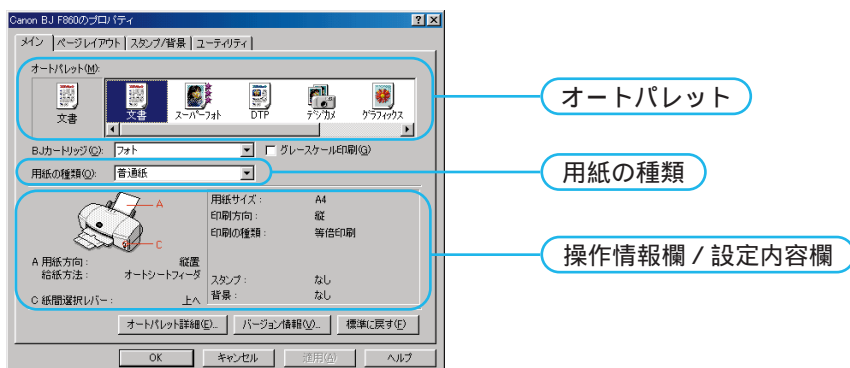
印刷中にプリンタのリセットボタンを押すと、印刷を中止できます。

➡「印刷を中止したい」（p.48）

●プリンタドライバの設定画面について

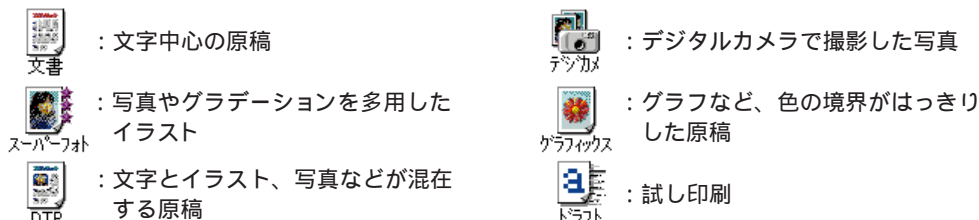
ここでは、前ページの手順5で説明した基本的な設定を行う［メイン］シートについて説明します。プリンタドライバにはここで説明している機能のほかに、色の調整や写真の補正、拡大／縮小印刷など、さまざまな機能が用意されています。プリンタドライバの詳しい使いかたについては、付属の『リファレンスガイド（CD-ROM）』をご覧ください。

note **Windows NT／Windows 2000をお使いの方は、『Windows 2000／Windows NT 4.0プリンタドライバガイド』をご覧ください。**

➡「Windowsをご使用の方へ」（p.1）

［オートパレット］

原稿の内容にあわせて選びます。アイコンを選択すると、用途に適した設定が自動的に行われます。

- 文書：文字中心の原稿
- スーパーフォト：写真やグラデーションを多用したイラスト
- DTP：文字とイラスト、写真などが混在する原稿
- デジカメ：デジタルカメラで撮影した写真
- グラフィックス：グラフなど、色の境界がはっきりした原稿
-

：試し印刷

［用紙の種類］

使用する用紙を選びます。

［操作情報欄／設定内容欄］

表示されているイラストを参考に、紙間選択レバーの設定や用紙のセットを行います。用紙のサイズや印刷方向の確認も行えます。

➡「用紙をセットする」（p.23）

印刷品位を変えるには

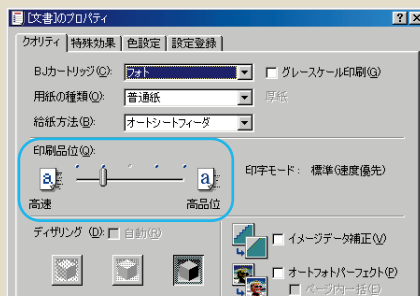
［オートパレット］で設定した印刷結果に満足できなかった場合などは、次の手順で［印刷品位］を変更してください。また、写真を印刷する場合は、［オートフォトパーフェクト］を使うと、自動的に写真の補正を行います。

➡『リファレンスガイド（CD-ROM）』の「印刷の品質やディザリング方法を変更する」

➡『リファレンスガイド（CD-ROM）』の「写真の色合いを補正して印刷する」

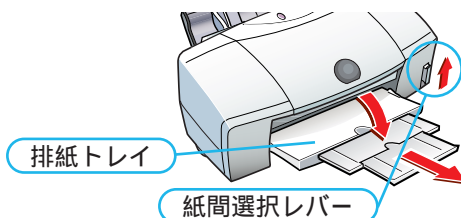
❶ **上の画面で［オートパレット詳細］をクリックする**

❷ **スライドバーをドラッグして、印刷品位を設定する**

一番右側（最高品位）に設定すると、用紙の種類によっては印刷に時間がかかるという内容のメッセージが表示されます。このような場合は、メッセージの内容にしたがって、操作してください。

はがきに印刷するときは Windows

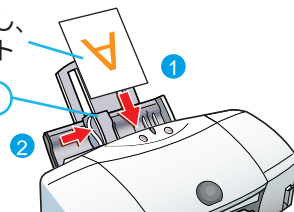
はがきに印刷するときは、用紙のセットのしかたが普通紙と若干違います。また、印刷する内容によってプリンタドライバで印刷設定を変える必要があります。

・カールしたはがきは使用しないでください。はがきが斜めに送られることがあります。
はがきがカールしているときは、逆向きに曲げてカールを直してください。このとき、はがきの表面が波状にならないよう注意してください。
・往復はがき、写真やステッカーを貼ったはがきは使用しないでください。

1 紙間選択レバーが上になっていること、排紙トレイが引き出してあることを確認する

2 はがきをセットする

❶ はがきを縦置きにセットする

右図を参考に、はがきの上下、表裏に気を付けてください。
官製はがきやインクジェット用官製はがき、フォト光沢はがきは40枚、プロフェッショナルフォトはがきは20枚までセットできます。

❷ 用紙ガイドをはがきの左端にあわせる

3 プリンタドライバの設定画面を開き、印刷する内容にあわせてアイコンを選択する

→「印刷してみましょう Windows」（p.12）

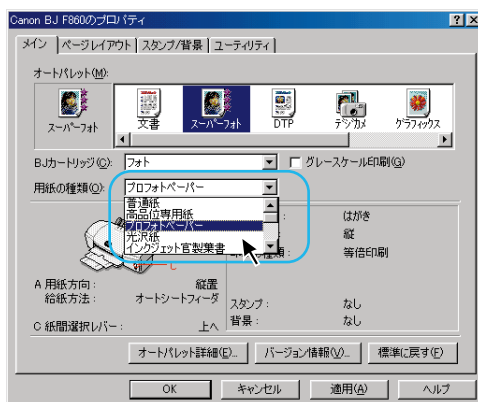
note Windows NT4.0／Windows 2000をお使いの場合は、プリンタドライバの設定画面を開いたら、手順4に進んでください。

印刷する内容	選択するアイコン
宛名・文字が中心	文書
写真が中心	スーパーフォト
文字とイラストが混在	DTP
デジタルカメラで撮った写真	デジカメ
色の境界がはっきりしたイラストが中心	グラフィックス

（次のページにつづく）

4 [用紙の種類]を選択する

note Windows NT4.0／Windows 2000をお使いの場合は、[基本設定]シートで用紙の種類を選択してください。

はがきの種類	印刷面	用紙の種類
官製はがき	宛名面･通信面	はがき
インクジェット用官製はがき	宛名面	はがき
	通信面	インクジェット官製葉書
プロフェッショナルフォトはがき(PH-101)	宛名面	はがき
	通信面	プロフォトペーパー
フォト光沢ハガキ(KH-101N)	宛名面	はがき
	通信面	光沢はがき

5 [用紙サイズ]が[はがき]になっているか確認して[OK]をクリックする

note Windows NT4.0／Windows 2000をお使いの場合は、[ページ設定]タブをクリックして、用紙サイズを確認してください。

[用紙サイズ]が[はがき]になっていない場合は、次の手順で設定してください。

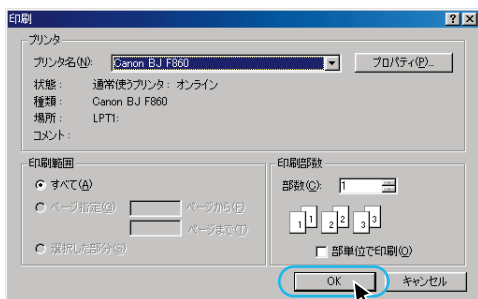
1. プリンタドライバの設定画面(右の画面)で[OK]をクリックする
2. 印刷画面で[キャンセル]をクリックする
   印刷がキャンセルされます。
3. アプリケーションソフトの[ページ設定]などで、用紙サイズが正しく設定されているか確認する

   note アプリケーションソフトでの用紙サイズの設定については、アプリケーションソフトに付属の説明書をご覧ください。
4. もう一度、プリンタドライバの設定画面を開き、[用紙サイズ]が[はがき]になっているか確認する

   note 正しいサイズに設定されていない場合は、［ページレイアウト］タブをクリックし、［用紙サイズ］を［はがき］に設定してください。

6 [OK]をクリックする

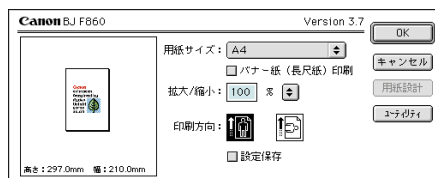
印刷が始まります。

note
- 排紙トレイに積載できるはがきは40枚まで（プロフェッショナルフォトはがきは20枚まで）です。ただし、写真などインクを多く使う原稿を印刷するときは、1枚ごとに排紙トレイから取り除いてください。なお、はがきを持つときはできるだけ端を持ち、インクが乾くまでは印刷面に触れないでください。
- 反対側の面にも印刷するときは、印刷面が十分に乾いてから印刷してください。

印刷してみましょう Macintosh

ここでは、印刷の手順について説明します。

1 アプリケーションソフトで用紙設定をして、印刷したい書類を作成（または表示）する

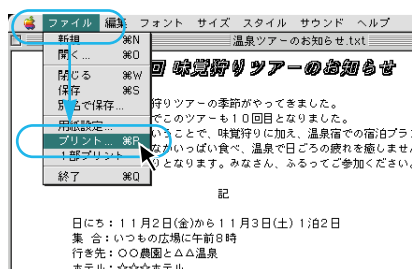
用紙設定は、アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［用紙設定］を選ぶのが一般的です。

note アプリケーションソフトによっては用紙設定の操作方法が異なります。用紙設定画面の開きかたについては、アプリケーションソフトに付属の説明書をご覧ください。

2 プリンタに用紙をセットする

➡「用紙をセットする」（p.23）

3 印刷画面を開く

一般に、［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶと表示されます。

note アプリケーションソフトによっては操作方法が異なります。印刷画面の開きかたについては、アプリケーションソフトに付属の説明書をご覧ください。

4 印刷の設定をする

❶ 使用する用紙を選択する

❷ 印刷の目的に適したアイコンを選択する

➡「プリンタドライバの設定画面について」（p.18）

5 上の画面で［プリント］をクリックする

印刷が始まります。

印刷を中止するには

印刷中にプリンタのリセットボタンを押すと、印刷を中止できます。

➡「印刷を中止したい」（p.48）

●プリンタドライバの設定画面について

ここでは、前ページの手順4で説明した基本的な設定について説明します。
プリンタドライバには、ここで説明している機能のほかに、色の調整や写真の補正、イラストタッチで印刷する機能など、さまざまな機能が用意されています。プリンタドライバの詳しい使いかたについては、付属の『リファレンスガイド(CD-ROM)』をご覧ください。

[印刷設定]

原稿の内容にあわせて選びます。アイコンを選択すると、用途に適した設定が自動的に行われます。

：文字中心の原稿

：写真やグラデーションを多用したイラスト

：グラフなど、色の境界がはっきりした原稿

：印刷条件を細かく設定して印刷するとき
➡『リファレンスガイド(CD-ROM)』の「詳細な印刷設定をする」

[用紙の種類]

使用する用紙を選びます。

[給紙方法]

用紙の送りかたを設定します。厚紙に印刷する場合は、必ず[手差し]を選んでください。
➡「用紙をセットする」(p.23)

印刷品位を変えるには

[印刷設定]で設定した印刷結果に満足できなかった場合などは、次の手順で[印刷品位]を変更してください。また、写真を印刷する場合は、[オートフォトパーフェクト]を使うと、自動的に写真の補正を行います。

➡『リファレンスガイド(CD-ROM)』の「印刷品位を変更する」
➡『リファレンスガイド(CD-ROM)』の「写真の色合いを補正する」

❶ **上の画面で（マニュアル）を選び、[詳細設定]をクリックする**

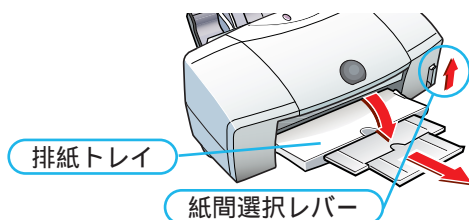
❷ **（クオリティ）アイコンを選ぶ**

❸ **スライドバーをドラッグして、印刷品位を設定する**
一番右側（最高品位）に設定すると、用紙の種類によっては印刷に時間がかかるという内容のメッセージが表示されます。このような場合は、メッセージの内容にしたがって、操作してください。

はがきに印刷するときは Macintosh

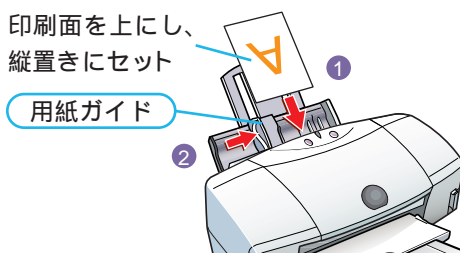
はがきに印刷するときは、用紙のセットのしかたが普通紙と若干違います。また、印刷する内容によってプリンタドライバで印刷設定を変える必要があります。

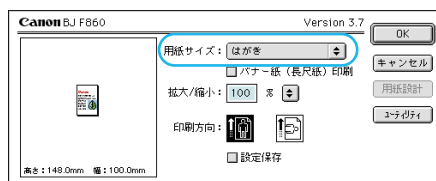
- カールしたはがきは使用しないでください。はがきが斜めに送られることがあります。はがきがカールしているときは、逆向きに曲げてカールを直してください。このとき、はがきの表面が波状にならないよう注意してください。
- 往復はがき、写真やステッカーを貼ったはがきは使用しないでください。

1 紙間選択レバーが上になっていること、排紙トレイが引き出してあることを確認する

2 はがきをセットする

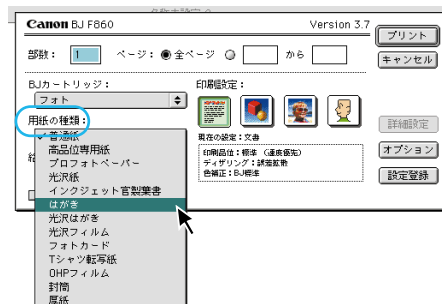
❶ はがきを縦置きにセットする

右図を参考に、はがきの上下、表裏に気を付けてください。官製はがきやインクジェット用官製はがき、フォト光沢はがきは40枚、プロフェッショナルフォトはがきは20枚までセットできます。

❷ 用紙ガイドをはがきの左端にあわせる

3 アプリケーションソフトの用紙設定ダイアログで[用紙サイズ]が[はがき]になっているか確認する

➡「印刷してみましょう Macintosh」（p.17）

4 プリンタドライバの設定画面を開き、[用紙の種類]をはがきの種類にあわせて選択する

➡「印刷してみましょう Macintosh」（p.17）

はがきの種類	印刷面	用紙の種類
官製はがき	宛名面・通信面	はがき
インクジェット用官製はがき	宛名面	はがき
	通信面	インクジェット官製葉書
プロフェッショナルフォトはがき(PH-101)	宛名面	はがき
	通信面	プロフォトペーパー
フォト光沢ハガキ(KH-101N)	宛名面	はがき
	通信面	光沢はがき

（次のページにつづく）

5 印刷する内容にあわせてアイコンを選択する

印刷する内容	選択するアイコン
宛名・文字が中心	
色の境界がはっきりしたグラフィックスが中心	
写真が中心	

note **印刷条件を細かく設定して印刷することもできます。**

→『リファレンスガイド（CD-ROM）』の「詳細な印刷設定をする」

6 [プリント]をクリックする

印刷が始まります。

note
- **排紙トレイに積載できるはがきは40枚まで（プロフェッショナルフォトはがきは20枚まで）です。ただし、写真などインクを多く使う原稿を印刷するときは、1枚ごとに排紙トレイから取り除いてください。なお、はがきを持つときはできるだけ端を持ち、インクが乾くまでは印刷面に触れないでください。**
- **反対側の面にも印刷するときは、印刷面が十分に乾いてから印刷してください。**

2章 用紙について

ここでは本機で使用できる用紙の種類と、プリンタへの用紙のセット方法について説明します。

使用できる用紙

印刷に使用できる用紙は次のものです。それぞれの用紙のセットのしかたや印刷範囲などは、『リファレンスガイド(CD-ROM)』で詳しく説明しています。

●一般的な用紙

普通紙

一般的な複写機に使われるコピー用紙（重さ64〜105g/m²）や、キヤノン製のカラーバブルジェット専用の普通紙(LC-301)に印刷できます。

はがき

一般の官製はがき（インクジェット用官製はがきを含む）に印刷できます。往復はがきは印刷できません。

封筒

市販の定形封筒では洋形4号、洋形6号に印刷できます。

note **用紙の厚さによって、用紙をセットできる場所が異なります。**
なお、厚さ0.6mmを超える用紙は紙づまりなどの原因となりますので使用しないでください。

- オートシートフィーダ
  重さ64〜105g/m²の用紙をセットできます。105g/m²より重い用紙は、手差し給紙口にセットしてください。
- 手差し給紙口
  重さ64〜500g/m²(用紙の厚さが0.6mm以下)の用紙をセットできます。

●キヤノン製専用紙

キヤノン製の専用紙として、下記のものが用意されています。最適な印字品位を保つために、キヤノン製専用紙をお使いになることをお勧めします。

note **キヤノン製の専用紙をお使いになる場合は、用紙の袋または付属の使用説明書に書かれている注意事項を必ずお読みになってから、ご使用ください。**

プロフェッショナルフォトペーパー（PR-101）

光沢の出るコーティングを施した厚みのある用紙で、高画質な写真の印刷に最適です。本機では、この用紙に印刷したときに最も高い画質を得ることができます。

フォト光沢紙（GP-301）

耐久性に優れ、印刷面に光沢がある厚手の用紙です。本格的な写真に近い仕上がりを再現できます。

高品位専用紙（HR-101S）

普通紙に比べてカラーの発色性に優れています。カラーの図やグラフなどをたくさん使ったビジネス文書などに向いています。写真の印刷にも手軽に使用できます。

プロフェッショナルフォトはがき(PH-101)

通信面がプロフェッショナルフォトペーパー（PR-101）と同じ材質の用紙です。写真を高画質に印刷したいときに最適な、はがきサイズの専用紙です。

フォト光沢ハガキ（KH-201N）

通信面に光沢のある、はがきサイズの専用紙です。写真やイラストなどをたくさん使った印刷は、官製はがきより美しい仕上がりになります。

プロフェッショナルフォトカード（PC-101シリーズ）

プロフェッショナルフォトペーパー（PR-101）と同じ材質の用紙で、印刷後にミシン目から切り離すと、白い縁のない写真に仕上がります。付属の『BJ Solution Disk（CD-ROM）』を使って、印刷してください。
写真のサイズにあわせて次の４種類のプロフェッショナルフォトカードが用意されています。

- L判用　プロフェッショナルフォトカードL判（PC-101 L）
  仕上がりサイズ：89×127mm
- 2L判用　プロフェッショナルフォトカード2L判（PC-101 2L）
  仕上がりサイズ：178×127mm
- デジタルカメラ用（DSC判）　プロフェッショナルフォトカードDSC判4面取り（PC-101 D）
  仕上がりサイズ：89×119mm
- デジタルカメラ用（六切り判）　プロフェッショナルフォトカードデジカメ六切り判（PC-101 W）
  仕上がりサイズ：190×254mm

フォト光沢カード（FM-101）

フォト光沢紙（GP-301）と同じ材質のカード専用紙で、周囲にミシン目が入っています。印刷後にミシン目から切り離すと、白い縁のない写真に仕上がります。付属の『BJ Solution Disk（CD-ROM）』を使っても印刷を行えます。

フォト光沢フィルム（HG-201）

フォト光沢紙よりツヤのあるフィルム材質のシートです。金属やガラスなどのように、素材自体が光沢をもったものを印刷するときにお勧めします。

OHPフィルム（CF-102）

オーバーヘッドプロジェクタ(OHP)で使うための専用フィルムです。他機種用のOHPフィルムや、複写機用のOHPフィルムは紙づまりなどの原因となりますので使わないでください。

Tシャツ転写紙（TR-201）

Tシャツにアイロンで転写するための用紙です。お好みの写真やイラストを左右反転して印刷し、アイロンで転写すると、オリジナルTシャツを作ることができます。印刷するときに[用紙の種類]で[Tシャツ転写紙]を選んでおくと、左右反転して印刷できます。

バナー紙（BP-101）

A4サイズの用紙が何枚もつながった長い用紙です。垂れ幕や横断幕などを印刷できます。

●印刷できない用紙

次のような用紙は使わないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- 折れている用紙
- カールしている用紙
- しわがついている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙(重さ64g/m²未満の用紙)
- 厚すぎる用紙(厚さ0.6mmを超える用紙)
- 往復はがき
- 写真やステッカーを貼ったはがき
- ふたの部分が二重になっている封筒
- ふたの部分がシールになっている封筒
- 型押しやコーティングなどの加工がされた封筒
- 穴の開いている用紙(例：ルーズリーフ)

●用紙を保管するときは

使わなかった用紙は用紙が入っていた袋に戻し、直射日光のあたる場所や高温多湿な場所を避けて保管してください。
保管するときは、しわがついたり曲がったりしないよう、水平に置いてください。

●用紙を持つときは

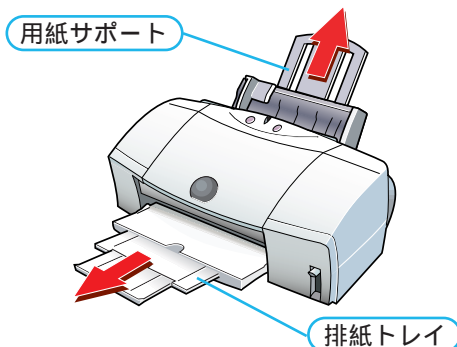
用紙はできるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。印刷面に傷や汚れがつくと、印刷の品質が低下することがあります。

用紙をセットする

ここでは、普通紙をセットする方法を中心に説明します。キヤノン製専用紙の詳しいセット方法については、『リファレンスガイド（CD-ROM）』をご覧ください。

➡『リファレンスガイド（CD-ROM）』の「いろいろな用紙に印刷する」
➡『リファレンスガイド（CD-ROM）』の「給紙方法を変更する」

●用紙をセットする前に

用紙サポート（オートシートフィーダにセットする場合）と排紙トレイを引き出してください。

●用紙のセット方法

オートシートフィーダの場合

note **厚紙はオートシートフィーダにセットしないでください。**

用紙をさばいて、端をきれいにそろえてからセットする

note **一度にセットできる枚数は用紙の種類によって異なります。**
➡「用紙別一覧表」（p.24）

必要に応じてクリーニングプレートをセットする
➡「クリーニングプレートのセットのしかた」（p.24）
➡「用紙別一覧表」（p.24）

印刷する面を上にしてセットする

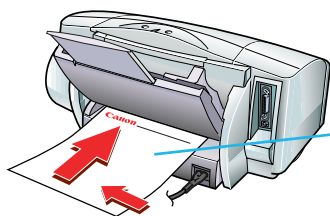
用紙の右端を、オートシートフィーダの右端にあわせる

用紙ガイドをつまんで動かし、用紙の左側にあわせる

用紙の種類にあわせて紙間選択レバーをセットする

下記以外の用紙：上（▯）
封筒／バナー紙／厚紙：下（✉）
➡「用紙別一覧表」（p.24）

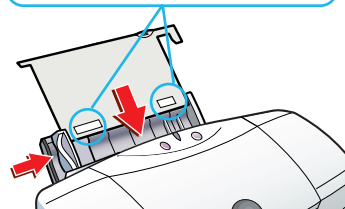
手差し給紙口にセットする場合

note **バナー紙（長尺紙）は手差し給紙口にセットしないでください。**

印刷する面を上にし、左側に用紙を沿わせて突きあたるところまでまっすぐ差し込む
（1秒ほどで自動的に用紙が引き込まれます。）

●印刷が終了した用紙は

インクが乾くまで印刷面にはさわらないようにしてください。
排紙トレイに積載できる枚数は、普通紙の場合で約50枚です。

●クリーニングプレートのセットのしかた

クリーニングプレートは、給紙ローラを掃除する目的で使うほかに、オートシートフィーダからの給紙を補助するために使います。
プロフェッショナルフォトペーパーやフォト光沢紙、L判（PC-101 L）以外のプロフェッショナルフォトカードを使うときは、必ず、クリーニングプレートを使用してください。

●用紙別一覧表

紙間選択レバーの位置やオートシートフィーダにセットできる用紙の枚数などは、用紙の種類によって異なります。用紙別の詳しい設定方法については、『リファレンスガイド(CD-ROM)』をご覧ください。

➡『リファレンスガイド(CD-ROM)』の「いろいろな用紙に印刷する」

用紙の種類	紙間選択レバーの位置	オートシートフィーダへの積載可能枚数	用紙セット時の注意
普通紙	上（▯）	10mm（重さ75g/㎡の普通紙で100枚）	
官製はがき インクジェット用官製はがき	上（▯）	40枚	縦置きにセットしてください
封筒 (洋形4号、洋形6号)	下（✉）	10枚	セットする方向に注意してください。 ➡『リファレンスガイド(CD-ROM)』の「封筒に印刷する」
プロフェッショナルフォトペーパー (PR-101)	上（▯）	1枚	クリーニングプレートを使用してください。 より光沢のある面が印刷面です。
フォト光沢紙 (GP-301)	上（▯）	10枚	クリーニングプレートを使用してください。 より光沢のある面が印刷面です。
高品位専用紙 (HR-101S)	上（▯）	80枚	より白い面が印刷面です。
プロフェッショナルフォトはがき (PH-101)	上（▯）	20枚	縦置きにセットしてください。
フォト光沢ハガキ (KH-201N)	上（▯）	40枚	縦置きにセットしてください。
プロフェッショナルフォトカード L判:(PC-101 L) 2L判:(PC-101 2L) DSC判4面取り:(PC-101 D) デジカメ六切り判:(PC-101 W)	上（▯）	L判(PC-101 L)のみ20枚、他は1枚	カットされた角が左上になるようセットします。 L判(PC-101 L)は用紙に付属の給紙補助シート、他はクリーニングプレートを使用してください。
フォト光沢カード (FM-101)	上（▯）	1枚	Canonロゴのない面が印刷面です。 用紙に付属の給紙補助シートAを使用してください。
フォト光沢フィルム (HG-201)	上（▯）	1枚	カットされた角が右上になるようセットします。
OHPフィルム (CF-102)	上（▯）	10枚	どちらの面にも印刷できますが、反りのある場合は膨らんでいるほうを印刷面にしてください。 一番下に普通紙を一枚敷いてからセットします。
Tシャツ転写紙 (TR-201)	上（▯）	1枚	線のない面が印刷面です。
バナー紙（長尺紙）	下（✉）	1セット（最長6枚分）	必ずオートシートフィーダで給紙してください。 印刷する枚数より1枚多くセットしてください。 (6枚分印刷するときは7枚セットする)
厚紙	下（✉）	1枚	必ず手差しで給紙してください。

3章 インクの交換とプリンタのメンテナンス

この章では、インクタンク交換の手順とプリンタのお手入れを中心に説明しています。

インクタンクを交換する

ここでは、インクタンクの交換時期のめやすと、交換方法について説明します。

◎インクタンクの交換時期

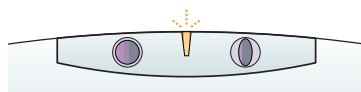
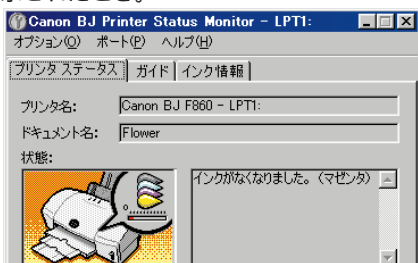
次のタイミングを参考に、インクタンクを交換してください。

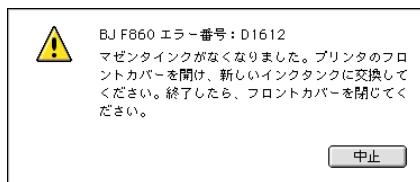
note 印刷がかすれたり白いすじが入る場合は、フロントカバーを開けてインクタンクを取り出し、インクの残量を確認してください。
➡「プリントヘッドをメンテナンスする」(p.27)

●**プリンタ本体のランプ**

ランプがオレンジ色に4回、緑色に1回の点滅をくりかえし、印刷できないとき。

● Windows

BJステータスモニタに「インクがなくなりました。」と表示されたとき。

● Macintosh

「インクがなくなりました。」というメッセージが表示されたとき。

上記のいずれかに当てはまる場合、インクがなくなっています。

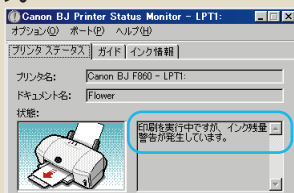
コンピュータの画面はそのままで、プリンタのフロントカバーをあけてインクタンクを交換してください。交換後、フロントカバーを閉じると、印刷が自動的に再開されます。

➡「インクタンクを交換する」(p.26)

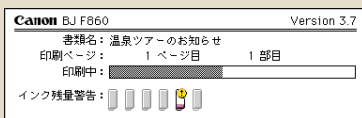
インクの残量が少なくなると…

インクの残量が少なくなると、次のような画面が表示されます。このような表示になったら、交換用のインクタンクを用意してください。

Windows

BJステータスモニタの画面に次のメッセージが表示されます。

[インク情報]タブをクリックするとどの色のインクタンクが少なくなっているか、確認できます。

Macintosh

印刷時の画面にインクタンク残量警告が表示されます。

note バックグラウンド印刷を行う設定になっている場合は、プリントモニタで確認してください。
➡『リファレンスガイド(CD-ROM)』の「BJ プリントモニタを開く」

◎インクタンクを交換する

インクがなくなったときは、次の手順で新しいインクタンクに交換しましょう。

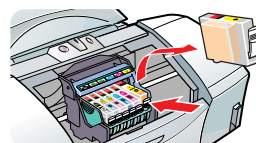
note　インクタンク交換後、印刷がかすれる場合には、クリーニングを行ってください。
➡「プリントヘッドをクリーニングする Windows 」（p.31）
➡「プリントヘッドをクリーニングする Macintosh 」（p.32）

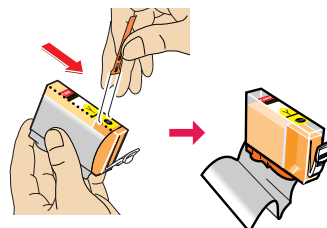
1 電源が入っていることを確認し、フロントカバーを開く

プリントヘッドが交換位置（中央部）まで移動します。

2 交換するインクタンクの固定つまみを押し、インクタンクを取り外す

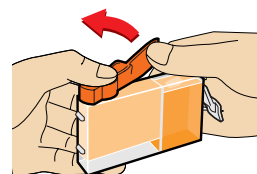
禁止
- 複数のインクタンクを交換する場合は、インクタンクを一度に取り外さないで、必ず1つずつ交換してください。入れる場所を間違えると印刷できなくなります。
- インクタンクのインク出口には手を触れないでください。インクが正しく供給されなくなることがあります。

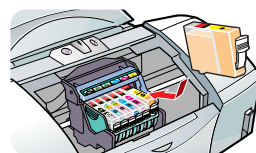
note
- 緑色のプリントヘッドは取り外さないでください。
- 使用済みのインクタンクは、回収のご協力をお願いします。捨てる場合は、地域の条例にしたがってください。
➡「使用済みのインクタンク回収のお願い」（巻末）

3 新しいインクタンクを袋から取り出す

4 オレンジ色のテープを持って、フィルムをはがす

5 オレンジ色の保護キャップを、矢印の方向にゆっくりひねって取り外す

指にインクが付着しないよう、キャップを押さえながら取り外します。

注意　インクが飛び出すことがありますので、インクタンクの側面は強く押さないでください。

禁止　取り外した保護キャップは再装着しないでください。地域の条例にしたがって捨ててください。

6 新しいインクタンクを斜めに差し込む

インクタンクの並び順はプリントヘッドホルダ上のラベルと照らしあわせて確認してください。

7 インクタンク上部の PUSH 印を押し、固定する

「カチッ」という音がするまで、しっかりと押してください。

8 フロントカバーを閉じる。

ランプが緑色の点灯に変わったらインクタンクの交換は完了です。

プリントヘッドをメンテナンスする

ここではプリントヘッドのメンテナンス手順と、ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、プリントヘッドの位置調整の方法について説明します。

プリントヘッドをメンテナンスする

印刷がかすれたり白いすじが入るようになったら、プリントヘッドのメンテナンスが必要です。ここでは、プリントヘッドのメンテナンス手順について説明します。

（すじが入った印刷例）

1 インクの残量を確認する

インクがある場合、プリントヘッドのノズルの目づまりや消耗が考えられます。次の手順に進んでください。

note インクがない場合は、インクタンクを交換してください。

➡ 「インクタンクを交換する」（p.26）

2 ノズルチェックパターンを印刷する

ノズルチェックパターンでプリントヘッドの状態を確認します。
ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合は、次の手順に進んでください。

➡ 「ノズルチェックパターンを印刷する Windows 」（p.28）
➡ 「ノズルチェックパターンを印刷する Macintosh 」（p.29）

3 プリントヘッドをクリーニングする

クリーニングが終わったら、ノズルチェックパターンでプリントヘッドの状態を確認します。
クリーニングを5回繰り返しても改善されない場合は、次の手順に進んでください。

➡ 「プリントヘッドをクリーニングする Windows 」（p.31）
➡ 「プリントヘッドをクリーニングする Macintosh 」（p.32）

4 プリントヘッドをリフレッシングする

リフレッシングが終わったら、ノズルチェックパターンでプリントヘッドの状態を確認します。

➡ 「プリントヘッドをリフレッシングする Windows 」（p.34）
➡ 「プリントヘッドをリフレッシングする Macintosh 」（p.35）

note それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お買い上げいただいた販売店またはお近くの修理受付窓口にご相談ください。

➡ 『ご相談窓口のご案内』

◯ノズルチェックパターンを印刷する Windows

プリントヘッドのノズルから正常に各色のインクが出ているか確認するために、チェック用のパターンを印刷します。印刷結果がかすれているときや、色味がおかしいときに行ってください。

note ノズルチェックパターンの印刷はプリンタ本体からも実行できます。次の手順で操作してください。

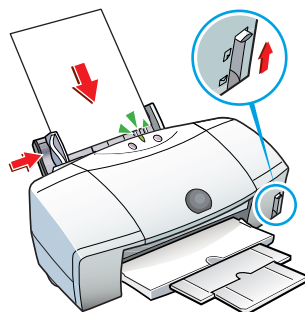
❶ プリンタの電源を入れ、A4サイズの普通紙をプリンタにセットする

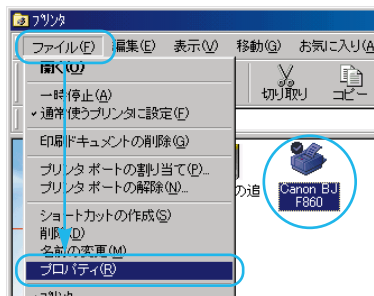
➡「用紙をセットする」（p.23）

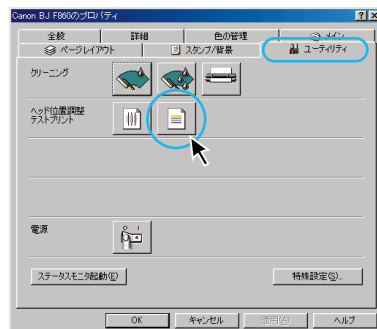
❷ プリンタのリセットボタンを押し続け、ランプが2回点滅したらボタンを離す

用紙が給紙され、ノズルチェックパターンが印刷されます。

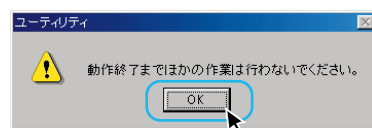
1 プリンタの電源を入れ、A4サイズの普通紙をセットする

➡「用紙をセットする」（p.23）

2 Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[設定]、[プリンタ]の順に選ぶ

3 ご使用のプリンタ名をクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]をクリックする

4 [ユーティリティ]タブをクリックし、（ノズルチェックパターン）をクリックする

note Windows NT4.0/Windows 2000の場合、画面が多少異なります。

5 メッセージを確認して[OK]をクリックする

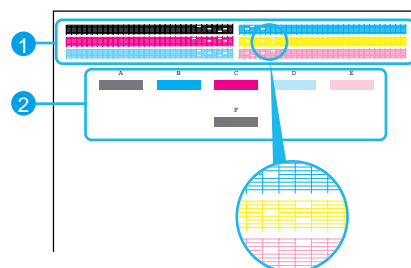
ノズルチェックパターンが印刷されます。

6 [OK]をクリックする

7 印刷されたノズルチェックパターンを見て、各色のノズルの状態を確認する

❶のパターンが欠けているときは、プリントヘッドのクリーニングが必要です。

➡「プリントヘッドをクリーニングする Windows 」（p.31）

❷のパターンで縦のすじが目立つときは、プリントヘッドの位置調整が必要です。

➡「プリントヘッドの位置を調整する Windows 」（p.37）

パターンが欠けている例

ノズルチェックパターンを印刷する Macintosh

プリントヘッドのノズルから正常に各色のインクが出ているか確認するために、チェック用のパターンを印刷します。印刷結果がかすれているときや、色味がおかしいときに行ってください。

note ノズルチェックパターンの印刷はプリンタ本体からも実行できます。次の手順で操作してください。

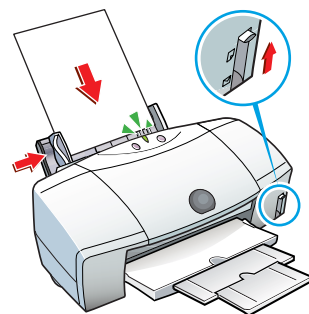
❶ プリンタの電源を入れ、A4サイズの普通紙をプリンタにセットする

➡「用紙をセットする」（p.23）

❷ プリンタのリセットボタンを押し続け、ランプが2回点滅したらボタンを離す

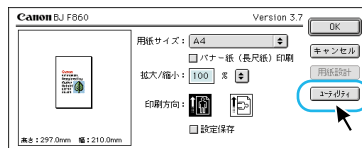
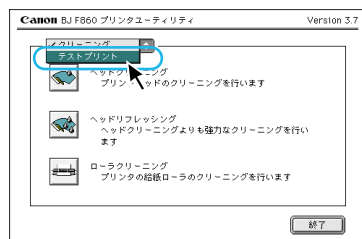
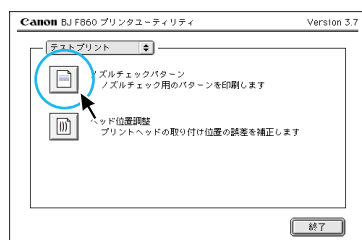
用紙が給紙され、ノズルチェックパターンが印刷されます。

1 プリンタの電源を入れ、A4サイズの普通紙をセットする。

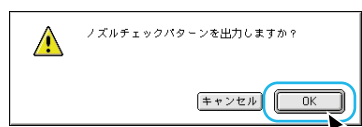
➡「用紙をセットする」（p.23）

（次のページにつづく）

2 [ファイル]メニューの[用紙設定]をクリックする

用紙設定ダイアログを開きます。ご使用のアプリケーションソフトによって操作方法が異なります。用紙サイズを設定する画面を開いてください。

3 [ユーティリティ]をクリックする

4 [◆]をクリックして[テストプリント]を選ぶ

5 [□](ノズルチェックパターン)をクリックする

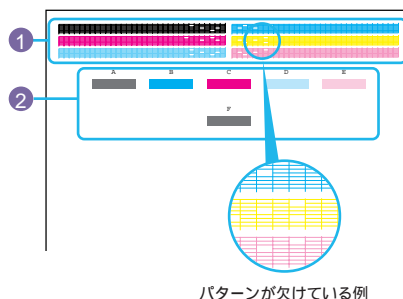
6 [OK]をクリックする

ノズルチェックパターンが印刷されます。

7 印刷されたノズルチェックパターンを見て、各色のノズルの状態を確認する。

❶ のパターンが欠けているときは、プリントヘッドのクリーニングが必要です。

➡「プリントヘッドをクリーニングする Macintosh」（p.32）

❷ のパターンで縦のすじが目立つときは、プリントヘッドの位置調整が必要です。

➡「プリントヘッドの位置を調整する Macintosh」（p.38）

パターンが欠けている例

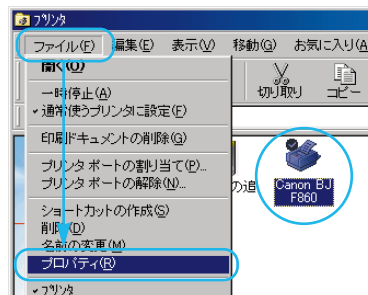
プリントヘッドをクリーニングする Windows

ノズルチェックパターンを印刷してみて、パターンが欠けている場合は、プリントヘッドのノズルがつまっていることがあります。プリントヘッドをクリーニングしてみましょう。

note
・不必要なクリーニングは避けてください。クリーニングを行うとインクを消費します。
・プリントヘッドのクリーニングはプリンタ本体からも実行できます。次の手順で操作してください。
❶ プリンタの電源を入れる
❷ プリンタのリセットボタンを押し続け、ランプが1回点滅したら（約2秒後）ボタンを離す
ランプが点滅してクリーニングが始まります。ランプが点灯に変わるまで（約30秒）そのままお待ちください。

1 プリンタの電源を入れる

2 Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[設定]、[プリンタ]の順に選ぶ

3 ご使用のプリンタ名をクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]をクリックする

4 [ユーティリティ]タブをクリックし、(クリーニング)をクリックする

note Windows NT4.0/Windows 2000の場合、画面が多少異なります。[クリーニング]をクリックしたら手順 *6* に進んでください。

5 メッセージを確認して[OK]をクリックする

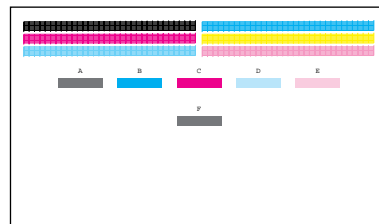
（次ページにつづく）

6 [OK]をクリックする

クリーニングが始まり、ランプが点滅します。クリーニングが終了するまでに約30秒かかります。ランプが点灯に変わるまで、そのままお待ちください。

7 ノズルチェックパターンを印刷し、クリーニングの効果を確認する

効果がない場合は、再度、クリーニングを行ってください。5回行っても効果がない場合は、プリントヘッドをリフレッシングしてください。
なお、インクの残量が少ないと、ノズルチェックパターンが正しく印刷されません。インクの残量が少ない場合はインクタンクを交換してください。

➡「ノズルチェックパターンを印刷する Windows 」(p.28)
➡「プリントヘッドをリフレッシングする Windows 」(p.34)
➡「インクタンクを交換する」(p.26)

プリントヘッドをクリーニングする Macintosh

ノズルチェックパターンを印刷してみて、パターンが欠けている場合は、プリントヘッドのノズルがつまっていることがあります。プリントヘッドをクリーニングしてみましょう。

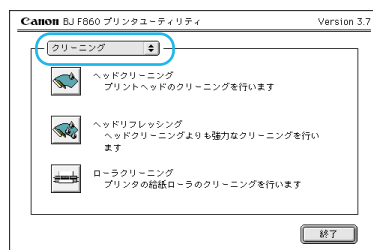
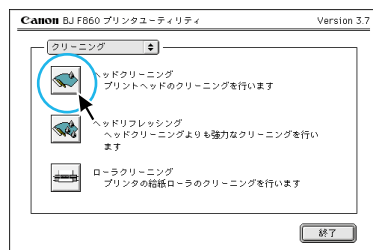
note
- 不必要なクリーニングは避けてください。クリーニングを行うとインクを消費します。
- プリントヘッドのクリーニングはプリンタ本体からも実行できます。次の手順で操作してください。
  - ❶プリンタの電源を入れる
  - ❷プリンタのリセットボタンを押し続け、ランプが1回点滅したら(約2秒後)ボタンを離す
    ランプが点滅してクリーニングが始まります。ランプが点灯に変わるまで(約30秒)そのままお待ちください。

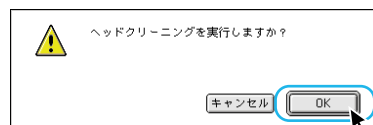
1 プリンタの電源を入れる

2 [ファイル]メニューの[用紙設定]をクリックする

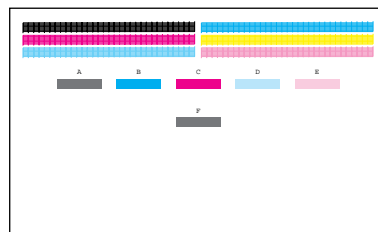
用紙設定ダイアログを開きます。ご使用のアプリケーションソフトによって操作方法が異なります。用紙サイズを設定する画面を開いてください。

3 [ユーティリティ]をクリックする

4 [クリーニング]が表示されていることを確認する

5 (ヘッドクリーニング)をクリックする

6 [OK]をクリックする

クリーニングが始まり、ランプが点滅します。
クリーニングが終了するまでに約30秒かかります。
ランプが点灯に変わるまで、そのままお待ちください。

7 ノズルチェックパターンを印刷し、クリーニングの効果を確認する

効果がない場合は、再度、クリーニングを行ってください。5回行っても効果がない場合は、プリントヘッドをリフレッシングしてください。
なお、インクの残量が少ないと、ノズルチェックパターンが正しく印刷されません。インクの残量が少ない場合はインクタンクを交換してください。

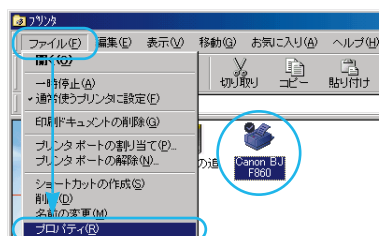
➡「ノズルチェックパターンを印刷する Macintosh 」(p.29)
➡「プリントヘッドをリフレッシングする Macintosh 」(p.35)
➡「インクタンクを交換する」(p.26)

プリントヘッドをリフレッシングする Windows

インクは残っているのに、プリントヘッドのクリーニングを繰り返しても印刷がかすれるときは、プリントヘッドをリフレッシングしてみましょう。

note 不必要なリフレッシングは避けてください。リフレッシングを行うと、インクを消費します。

1 プリンタの電源を入れる

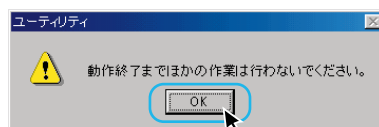
2 Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[設定]、[プリンタ]の順に選ぶ

3 ご使用のプリンタ名をクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]をクリックする

4 [ユーティリティ]タブをクリックし、(ヘッドリフレッシング)をクリックする

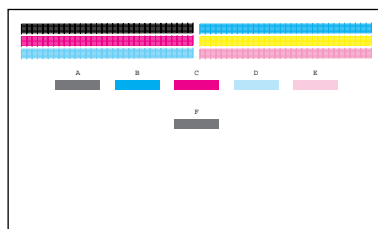
note Windows NT4.0/Windows 2000の場合、画面が多少異なります。[ヘッドリフレッシング]をクリックしたら手順 *6*に進んでください。

5 メッセージを確認して[OK]をクリックする

6 [OK]をクリックする

ヘッドリフレッシングが始まり、ランプが点滅します。
ヘッドリフレッシングが終了するまでに約1分かかります。
ランプが点灯に変わるまで、そのままお待ちください。

7 ノズルチェックパターンを印刷し、リフレッシングの効果を確認する

それでもノズルチェックパターンがかすれて印刷される場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お買い上げいただいた販売店または、お近くの修理受付窓口にご相談ください。

➡ 「ノズルチェックパターンを印刷する Windows 」（p.28）
➡ 『ご相談窓口のご案内』

プリントヘッドをリフレッシングする Macintosh

インクは残っているのに、プリントヘッドのクリーニングを繰り返しても印刷がかすれるときは、プリントヘッドをリフレッシングしてみましょう。

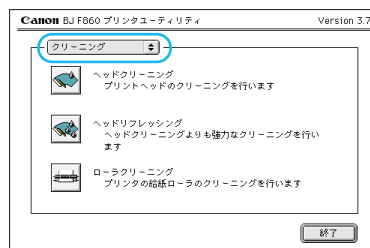
note 不必要なリフレッシングは避けてください。リフレッシングを行うと、インクを消費します。

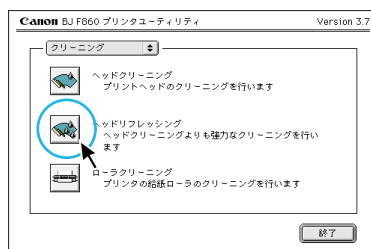
1 プリンタの電源を入れる

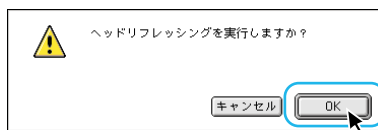
2 [ファイル]メニューの[用紙設定]をクリックする

用紙設定ダイアログを開きます。ご使用のアプリケーションソフトによって操作方法が異なります。用紙サイズを設定する画面を開いてください。

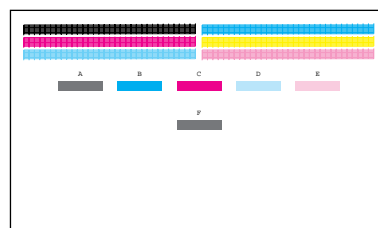
3 [ユーティリティ]をクリックする

4 [クリーニング]が表示されていることを確認する

（次のページにつづく）

5 (ヘッドリフレッシング)をクリックする

6 [OK]をクリックする

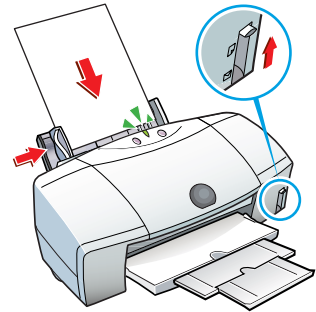
ヘッドリフレッシングが始まり、ランプが点滅します。
ヘッドリフレッシングが終了するまでに約1分かかります。
ランプが点灯に変わるまで、そのままお待ちください。

7 ノズルチェックパターンを印刷し、リフレッシングの効果を確認する

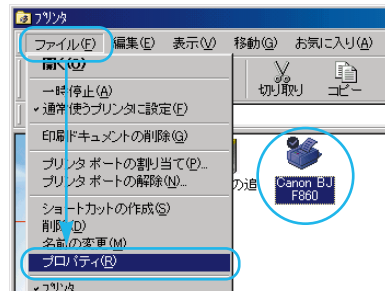
それでもノズルチェックパターンがかすれて印刷される場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お買い上げいただいた販売店または、お近くの修理受付窓口にご相談ください。

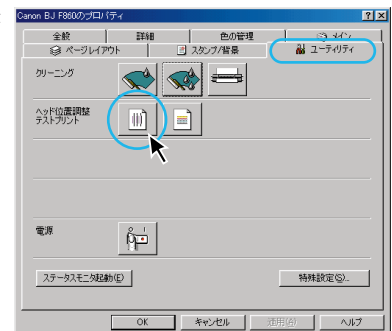
➡ 「ノズルチェックパターンを印刷する Macintosh 」（p.29）
➡ 『ご相談窓口のご案内』

◯プリントヘッドの位置を調整する Windows

写真などを印刷したときにむらやすじが出て十分な均一感が得られない場合は、プリントヘッドの位置を調整してください。

1 プリンタの電源を入れ、A4サイズの普通紙をセットする

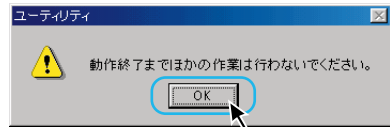
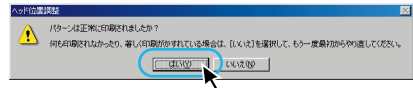
➡「用紙をセットする」(p.23)

2 Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[設定]、[プリンタ]の順に選ぶ

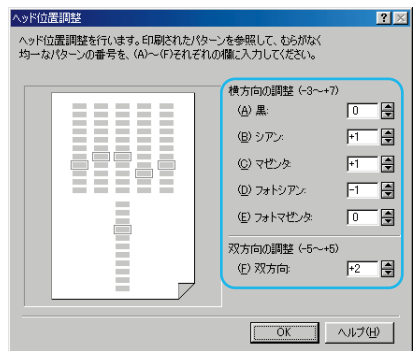
3 ご使用のプリンタ名をクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]をクリックする

4 [ユーティリティ]タブをクリックし、（ヘッド位置調整）をクリックする

note Windows NT4.0/Windows 2000の場合、画面が多少異なります。

（次のページにつづく）

5 メッセージを確認して[OK]をクリックする

ヘッド位置調整パターンが印刷されます。

6 [OK]をクリックする

7 印刷が終わったら[はい]をクリックする

8 印刷されたヘッド位置調整パターンを見て、調整値を入力する

➡「ヘッド位置調整パターンの見かた」(p.40)

9 すべての値を入力したら[OK]をクリックする

10 [OK]をクリックする

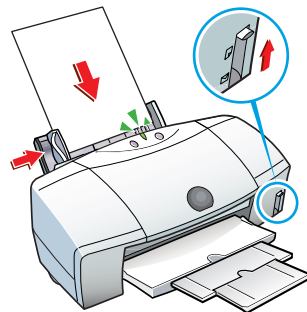
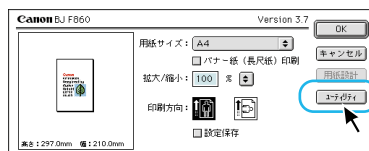
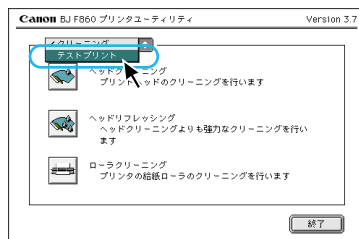
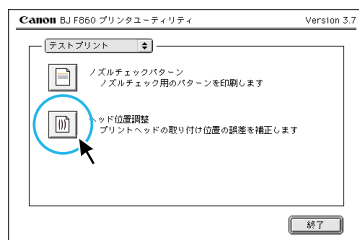
プリントヘッドの位置を調整する Macintosh

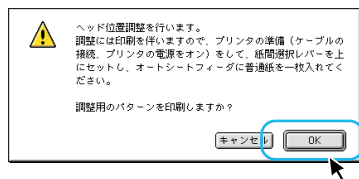
写真などを印刷したときにむらやすじが出て十分な均一感が得られない場合は、プリントヘッドの位置を調整してください。

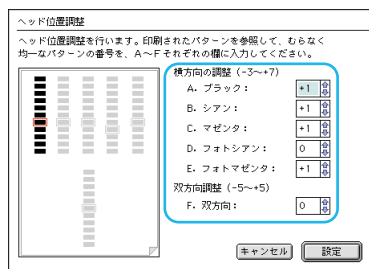
1 プリンタの電源を入れ、A4サイズの普通紙をセットする。

➡「用紙をセットする」(p.23)

2 [ファイル]メニューの[用紙設定]をクリックする

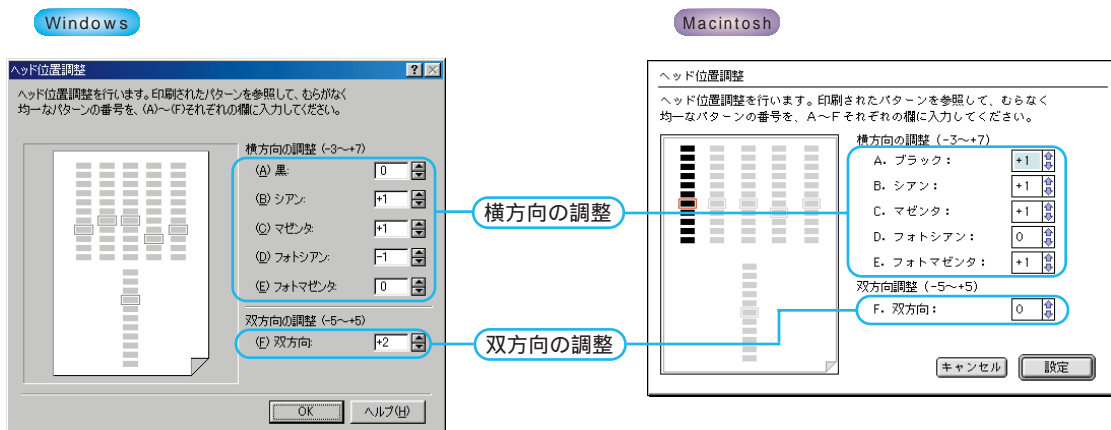
用紙設定ダイアログを開きます。ご使用のアプリケーションソフトによって操作方法が異なります。用紙サイズを設定する画面を開いてください。

3 [ユーティリティ]をクリックする

4 [⇕]をクリックして[テストプリント]を選ぶ

5 （ヘッド位置調整）をクリックする

6 [OK]をクリックする

ヘッド位置調整パターンが印刷されます。

7 印刷されたヘッド位置調整パターンを見て、調整値を入力する

➡「ヘッド位置調整パターンの見かた」（p.40）

8 すべての値を入力したら[設定]をクリックする

◯ヘッド位置調整パターンの見かた

ヘッド位置調整パターンが印刷されたら、次のようにして調整値を選び、入力してください。

● Windows　● Macintosh

[横方向の調整]

＋7から－3のうち、最も縦すじの目立たない番号を選び、A～Eに入力します。
番号入力で迷ったときは次のようにしてください。
A（黒／ブラック）、B（シアン）、C（マゼンタ）の場合：
　大きい方の番号を入力
D（フォトシアン）の場合：
　A（黒／ブラック）と同じ番号を入力
E（フォトマゼンタ）の場合：
　B（シアン）と同じ番号を入力

[双方向の調整]

＋5から－5のうち、最も縦すじの目立たない番号を選び、Fに入力します。
番号入力で迷ったときは小さい方の番号を入力してください。

プリンタを清掃する

ここでは、プリンタの排紙口と、給紙ローラの清掃について説明します。

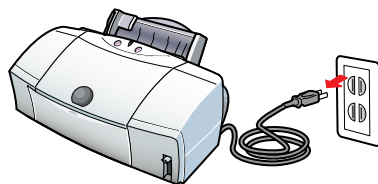
◯プリンタ排紙口を清掃する

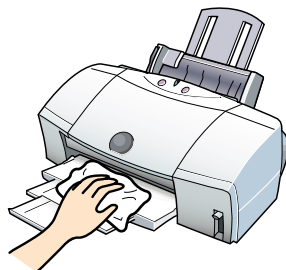
印刷した枚数が多くなると、排紙口が汚れてきます。汚れが目立ってきたら、次の手順にしたがってプリンタを清掃してください。

1 電源ボタンを押して、電源を切る

2 電源ランプが消えていることを確認して、電源プラグをコンセントから抜く

禁止
・ランプが点灯・点滅している状態で、電源プラグをコンセントから抜かないでください。その後、印刷できなくなることがあります。

注意
・清掃するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
誤って電源が入ると、作動した内部の部品に触れてけがの原因になることがあります。

3 排紙口を、水で湿らせ固くしぼった布でふく

注意
・シンナー、ベンジン、アルコールなどの引火性溶剤を使わないでください。
プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。

給紙ローラの清掃について

表面に特殊加工をした用紙、はがきなどを多く使用すると、プリンタ内部に紙粉がたまり、用紙が正しく送られなくなることがあります。このような場合はクリーニングプレートを使って、内部の給紙ローラの清掃を行ってください。

➡「給紙ローラをクリーニングする Windows」（p.42）
➡「給紙ローラをクリーニングする Macintosh」（p.43）

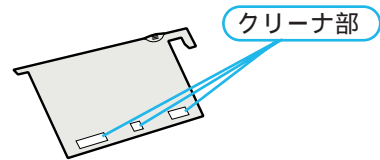
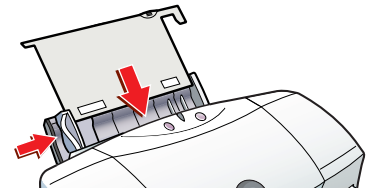
給紙ローラをクリーニングする Windows

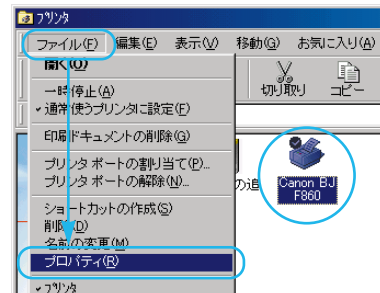
用紙が正しく送られなかったり、印刷した用紙にローラのあとがつくような場合は、給紙ローラが汚れている可能性があります。給紙ローラをクリーニングしてください。

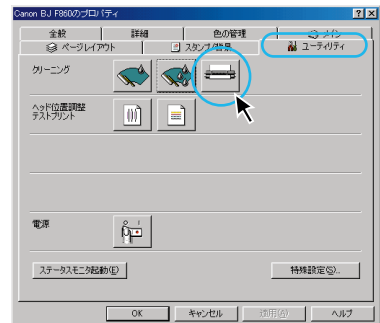
用意するもの

クリーニングプレート、普通紙2枚

1 クリーニングプレートのクリーナ部分に水を十分含ませる

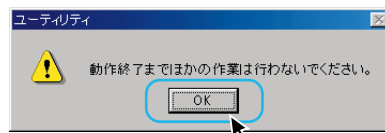
クリーナ部分以外についた水分は、よくふき取っておいてください。

2 プリンタの電源を入れ、クリーニングプレートをセットする

3 Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[設定]、[プリンタ]の順に選ぶ

4 ご使用のプリンタ名をクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]をクリックする

5 [ユーティリティ]タブをクリックし、(給紙ローラのクリーニング)をクリックする

note Windows NT4.0/Windows 2000の場合、画面が多少異なります。

6 メッセージを確認して[OK]をクリックする

給紙ローラのクリーニングが始まります。

7 [OK]をクリックする

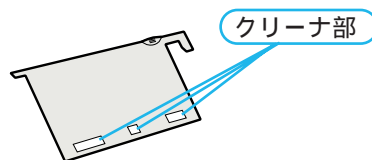
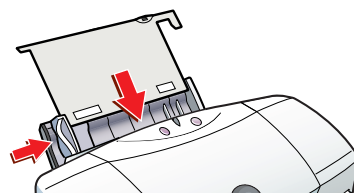
以降は画面の指示にしたがって操作してください。

◎給紙ローラをクリーニングする Macintosh

用紙が正しく送られなかったり、印刷した用紙にローラの跡がつくような場合は、給紙ローラが汚れている可能性があります。給紙ローラをクリーニングしてください。

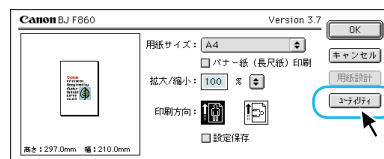
●用意するもの

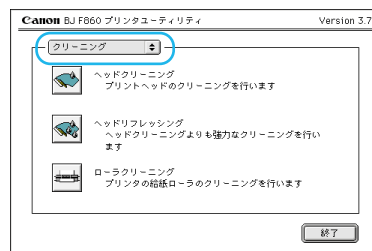
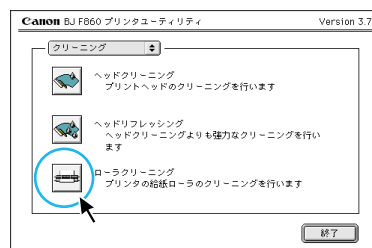
クリーニングプレート、普通紙2枚

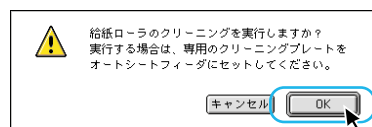
1 クリーニングプレートのクリーナ部分に水を十分含ませる

クリーナ部分以外についた水分は、よくふき取っておいてください。

2 プリンタの電源を入れ、クリーニングプレートをセットする

3 [ファイル]メニューの[用紙設定]をクリックする

用紙設定ダイアログを開きます。ご使用のアプリケーションソフトによって操作方法が異なります。用紙サイズを設定する画面を開いてください。

4 [ユーティリティ]をクリックする

（次のページにつづく）

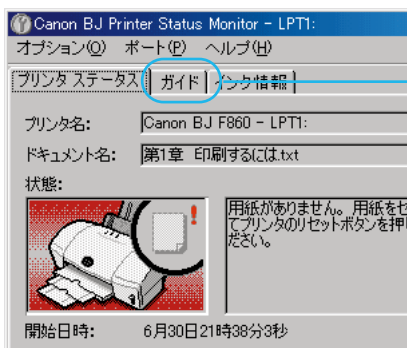
5 [クリーニング]が表示されていることを確認する

6 (ローラクリーニング)をクリックする

7 [OK]をクリックする

給紙ローラのクリーニングが始まります。
以降は画面の指示にしたがって操作してください。

4章 こんなときはどうする?

この章では、プリンタにトラブルが起こった場合の対処法について説明しています。本書では、起こりやすいトラブルだけを症状別に記載しています。ここで見つからないトラブルの対処方法については『リファレンスガイド（CD-ROM）』をご覧ください。

どんな症状ですか？

プリンタドライバのインストールが行えない、プリンタのランプが点滅しているなど、トラブルの症状を確認しましょう。

- **プリンタドライバがインストールできない**→p.46
- **印刷できない**
  - 印刷が始まらない→p.46
  - 意味不明の文字が印刷される→p.48
  - 印刷が途中で止まってしまう→p.47
- **印刷を中止したい**→p.48
- **用紙がつまった**→p.49
- **オートシートフィーダの用紙が送られない**→p.49
- **画面にエラーメッセージが表示されている**
  - BJステータスモニタが表示されている Windows

ガイドのタブをクリックすると対処方法が表示されます。[次へ]をクリックすると続きを見ることができます。画面にしたがってトラブルの対処を行ってください。

note Windows NT/Windows 2000をお使いの場合は［プリンタ情報］シートに対処方法が表示されます。

  - 「（LPT1またはUSBPRNへの）書き込みエラー」が表示されている Windows →p.50
  - 「アプリケーションエラー」や「一般保護違反」が表示されている Windows →p.51
  - 「エラー番号：＊300（＊は英字）」が表示されている Macintosh →p.52
  - 「エラー番号：＊202（＊は英字）」が表示されている Macintosh →p.52
  - 「エラー番号：＊203（＊は英字）」が表示されている Macintosh →p.52
- **ランプが点滅している**→p.53
- **印刷結果に満足できない**
  - 印刷がかすれる/違う色になる→p.54
  - 印刷した用紙がカールする／波打つ→p.55
  - 印刷面にこすれたあとがつく→p.54
  - 文書の最後まで印刷されない→p.55
  - 画面の色と色合いが違う→p.54
  - 色むらやすじのような模様がでる／きれいに印刷できない→p.55
- **写真をもっときれいに印刷したい**→p.56
- **その他のトラブル**→p.56

プリンタドライバがインストールできない

原因	対処方法
『かんたんスタートガイド』の手順どおりにインストールを行わなかった	『かんたんスタートガイド』の手順にしたがって、もう一度、インストールしてください。
インストールを途中でやめてしまった	『かんたんスタートガイド』の手順にしたがって、もう一度、インストールしてください。 note エラーが発生してインストールが強制終了した場合は、コンピュータが不安定な状態のためインストールできない場合があります。コンピュータを再起動し、もう一度インストールを行ってください。
他のアプリケーションソフトを起動している	他のアプリケーションソフトをすべて終了し、もう一度インストールしてください。
インストール用CD-ROMドライブが正しく指定されていない	Windows [マイコンピュータ]をダブルクリックし、開いたウィンドウにある をダブルクリックしてください。 以降の操作については、『かんたんスタートガイド』をご覧ください。 Macintosh 画面上に表示された CANON_BJ をダブルクリックしてください。 以降の操作については、『かんたんスタートガイド』をご覧ください。
(USBケーブルを使って接続している場合 Windows)、USBドライバが正しくインストールされていない	『かんたんスタートガイド』の手順にしたがって、もう一度、インストールしてください。
インストール用CD-ROMに異常がある	以下の方法でCD-ROMの内容が読めるか確認し、読めない場合はご相談窓口にお問い合わせください。 Windows WindowsのエクスプローラでCD-ROMが読めるかどうか確認する。 Macintosh CD-ROMをセットしたときに、画面にCD-ROMのアイコンが表示されるかどうか確認する。

印刷できない

●印刷が始まらない

原因	対処方法
電源が入っていない	プリンタのランプが緑色に点灯しているか確認してください。ランプが緑色に点滅しているときは、プリンタが準備動作をしています。点灯に変わるまでそのままお待ちください。
プリンタドライバがインストールされていない	『かんたんスタートガイド』の手順にしたがってプリンタドライバをインストールしてください。
プリンタとコンピュータがしっかりと接続されていない	しっかりと接続されていないと、印刷できないことがあります。『かんたんスタートガイド』をご覧になり、もう一度接続を確認してください。

原因	対処方法
写真やイラストなど、データ容量の大きな原稿を印刷している	写真やグラフィックスなど、大容量のデータを印刷すると、データの処理や転送に時間がかかるため、印刷が始まるまで時間がかかることがあります。 ランプが緑色に点滅しているときは、コンピュータからデータが転送されている状態です。そのままお待ちください。
他機種のプリンタドライバを使用している	機種の異なるプリンタのドライバを使用していると、正常に印刷できません。 印刷画面のプリンタ名を確認して、ご使用のプリンタが選択されていることを確認してください。
プリンタのポートが正しく設定されていない Windows	プリンタをプリンタケーブル（パラレルケーブル）で接続しているときは、プリンタの印刷先のポートを[LPT1]に設定してください。 また、プリンタをUSBケーブルで接続しているときは、プリンタの印刷先のポートを[USBPRN]（Windows 2000の場合は[USB nnn（nは数字）]）に設定してください。 ➡『リファレンスガイド（CD-ROM）』の「プリンタポートの設定を確認する」
プリンタポートがECPモードに設定されている Windows	プリンタポートがECPモードに設定されていると、正しく印刷できないことがあります。ECPモードを解除してください。 ➡『リファレンスガイド（CD-ROM）』の「ECPモードを解除する」

●印刷が途中で止まってしまう

原因	対処方法
写真やイラストなど、データ容量の大きな原稿を印刷している	高精細な絵や写真は、プリンタがそのデータを処理するのに時間がかかるため、プリンタが動いていないように見えることがあります。ランプを確認してください。 ランプが緑色に点滅しているときは、プリンタがデータを処理している状態です。 印刷が再開されるまで、そのままお待ちください。
接続しているケーブルの長さが長すぎる	ケーブルは2m以内のものをお勧めします。
長い時間、連続して印刷している	長い時間、印刷を続けると、プリントヘッドが過熱します。このような場合、プリントヘッドを保護するために、一時的にプリンタが停止することがありますが、しばらくすると、印刷は再開されます。区切りのよいところでいったん印刷を中止して電源を切り、電源コードを抜いてプリントヘッドが冷えるまでお待ちください。（15分以上）

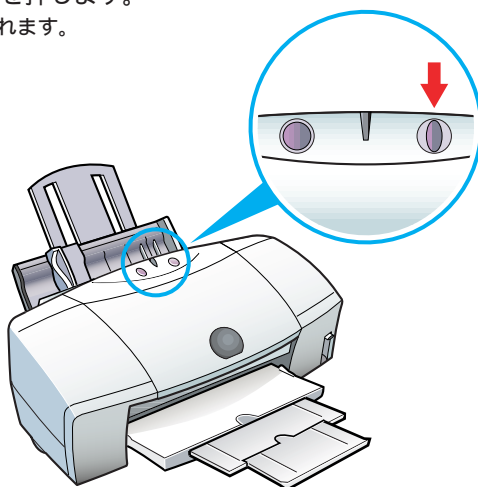
●意味不明の文字が印刷される

原因	対処方法
前回の印刷を途中でキャンセルした	印刷中にキャンセルしたときのデータがプリンタやコンピュータに残っている可能性があります。 いったんコンピュータとプリンタの電源をすべて切ってから、もう一度印刷してください。
プリンタとコンピュータがしっかりと接続されていない	しっかり接続されていないと、意味不明な文字、記号などが印刷されることがあります。 『かんたんスタートガイド』をご覧になり、もう一度接続を確認してください。
印刷したデータに問題がある	特定の文書を印刷したときのみ、意味不明な文字、記号が印刷される場合は、その文書ファイルに問題があるか、そのファイルで使用されているアプリケーションソフトの機能に問題がある可能性があります。もう一度、文書を作成し直してから印刷してみてください。 新しい文書で問題がなければ、元の文書ファイルに問題があったと考えられます。新しい文書でも同じ症状があるときは、『ご相談窓口のご案内』を参照して、お客様相談センターにお問い合わせください。
他機種のプリンタドライバを使用している	機種の異なるプリンタのドライバを使用していると、意味不明な文字、記号などが印刷されることがあります。 印刷画面のプリンタ名を確認して、ご使用のプリンタが選択されていることを確認してください。
プリンタポートがECPモードに設定されている Windows	プリンタポートがECPモードに設定されていると、正しく印刷できないことがあります。ECPモードを解除してください。 ➡『リファレンスガイド(CD-ROM)』の「ECPモードを解除する」

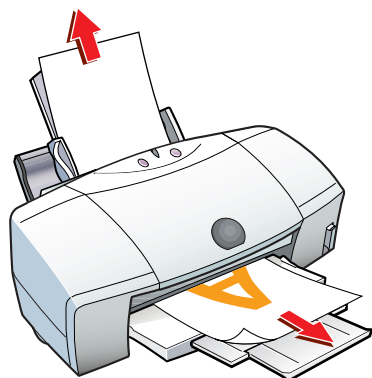
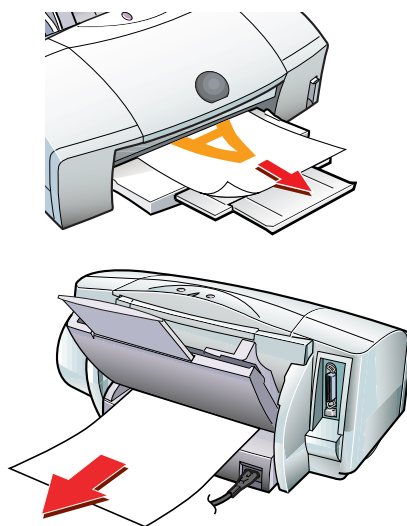
印刷を中止したい

プリンタのリセットボタンを押します。

印刷が中止され、用紙が排紙されます。

用紙がつまった

つまった用紙を引き出しやすいほう（より多く用紙が出ているほう）にゆっくり引っ張って取り除きます。

- 用紙が破れてプリンタ内部に残ったときは、電源を切ってからフロントカバーを開け、破れた用紙を取り除いてください。
- 電源を切った場合、プリンタに送信されていた印刷データが消去されますので、もう一度印刷の指示をしてください。
- A5サイズの用紙は文字中心の原稿の印刷に適しています。写真やグラフィックスを含む原稿の印刷にはお勧めできません。用紙がカールして排出不良の原因となることがあります。

●オートシートフィーダの場合

●手差しの場合

用紙を取り除いたら、もう一度用紙をセットしてプリンタのリセットボタンを押してください。

オートシートフィーダの用紙が送られない

原因	対処方法
用紙の厚さが適切でない	重さが64～105g/m²の用紙をセットしてください。
セットした用紙の枚数が多すぎる	オートシートフィーダ積載可能枚数を超えないよう、用紙をセットしてください。 ➡「用紙をセットする」（p.24）
折れている用紙、反りのある用紙を使っている	プリンタにあった用紙を使用してください。 ➡「用紙について」（p.21）
プロフェッショナルフォトペーパーやフォト光沢紙、プロフェッショナルフォトカード、フォト光沢カード、OHPフィルムなどを使っている	以下のものを用紙の一番下に敷いてセットしてください。 プロフェッショナルフォトペーパー、フォト光沢紙、L判（PC-101L）以外のプロフェッショナルフォトカード → クリーニングプレート L判（PC-101L）のプロフェッショナルフォトカード → 給紙補助シート フォト光沢カード → 給紙補助シートA OHPフィルム → 普通紙

（次のページにつづく）

原因	対処方法
オートシートフィーダに異物が入っている	保護材などの異物がないか確認し、ある場合は取り除いてください。
給紙方法の設定が[手差し]になっている	[オートシートフィーダ]に設定してください。 ➡『リファレンスガイド(CD-ROM)』の「給紙方法を変更する」

note 上記対策を行ってもうまく給紙されない場合は、給紙ローラをクリーニングしてください。それでもうまく給紙できない場合は、セットする用紙の枚数を減らしてください。

➡「給紙ローラをクリーニングする Windows 」(p.42)
➡「給紙ローラをクリーニングする Macintosh 」(p.43)

画面にエラーメッセージが表示されている

●「(LPT1またはUSBPRNへの)書き込みエラー」が表示されている Windows

原因	対処方法
プリンタの電源が入っていないかエラーが発生している	プリンタのランプが緑色に点灯しているか確認してください。 緑色とオレンジ色のランプが交互に点滅しているときは、エラーが発生しています。エラーの原因を取り除いてください ➡「ランプが点滅している」(p.53)
プリンタとコンピュータが正しく接続されていない	電源コードやケーブルはしっかりと接続してください。
スプールが、正常に動作していない	プリンタに直接印刷データを送るように設定してください。 ➡『リファレンスガイド(CD-ROM)』の「スプールの設定を解除する」
プリンタポートやUSBポートに異常がある	プリンタポートの状態を確認してください。 1.Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[設定]、[コントロールパネル]の順に選択する 2.[システム]アイコンをダブルクリックする note Windows Meをお使いの方で[システム]アイコンが表示されない場合は、[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する]をクリックしてください。 3.プリンタケーブルで接続している場合: [デバイスマネージャ]シートで[ポート(COM/LPT)]をダブルクリックした後、[プリンタポート(LPT1)]をダブルクリックする USBケーブルで接続している場合: [デバイスマネージャ]シートで[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]をダブルクリックした後、ご使用のプリンタ名(Windows 2000の場合は[USB印刷サポート])をダブルクリックする note Windows 2000をお使いの方は、[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]を選択してください。 4.[全般]または[情報]シートにポートの異常に関する記述が表示されているか、接続されているデバイスが使用可能かどうかを確認する 5.[リソース]タブをクリックし、[競合するデバイス]を確認する 競合するデバイスがあるとエラーになります。必要に応じて競合するデバイスを削除します。削除する方法は、そのデバイスの取扱説明書をご覧ください。

原因	対処方法
プリンタのポートが正しく設定されていない	プリンタをプリンタケーブル（パラレルケーブル）で接続しているときは、プリンタの印刷先のポートを[LPT1]に設定してください。また、プリンタをUSBケーブルで接続しているときは、プリンタの印刷先のポートを［USBPRN］（Windows 2000の場合は[USB nnn（nは数字)]）に設定してください。 ➡『リファレンスガイド(CD-ROM)』の「プリンタポートの設定を確認する」
プリンタドライバが正しくインストールされていない	プリンタドライバを削除し、『かんたんスタートガイド』の手順にしたがって、もう一度インストールしてください。
WPS（Windows Printing System）ドライバやCAPT（Canon Advanced Printing Technology）ドライバがインストールされている	WPSドライバやCAPTドライバがインストールされていると、正常に印刷されないことがあります。WPSドライバやCAPTドライバの設定を変更するか削除してください。 ➡『リファレンスガイド(CD-ROM)』の「WPSドライバやCAPTドライバの設定を変更する」
ケーブルに異常がある	別のケーブルに交換して印刷してみてください。ケーブルの異常については、ケーブルの販売元にご相談ください。
切替え機や外付けバッファ、USBハブなどに異常がある	切替え機や外付けバッファ、USBハブなどを使って接続している場合は、これらを外してコンピュータと直接つないで印刷してみてください。 正常に印刷される場合は、切替え機や外付けバッファ、USBハブの異常が考えられます。これらの販売元にご相談ください。

●「アプリケーションエラー」や「一般保護違反」が表示されている Windows

原因	対処方法
他のOS用のアプリケーションソフトで印刷している	他のOS用のアプリケーションソフトを使用して印刷すると正しく機能せず、エラーになることがあります。 ご使用のOSにあったアプリケーションソフトを使用してください。
アプリケーションソフトに必要なメモリ容量が確保されていない。複数のアプリケーションソフトを起動している	印刷のためのメモリが確保されずにエラーとなることがあります。他のアプリケーションソフトを起動している場合は、それらのアプリケーションソフトを終了し、もう一度印刷してみてください。
ハードディスクの空き容量が不十分	ハードディスクの空き容量を確認してください。 ハードディスクの空き容量が不足しているとエラーになることがあります。十分な空き容量がないときは、不要なファイルを削除するなどして空き容量を増やしてください。
印刷した原稿に問題がある	特定の原稿を印刷したときのみエラーとなるときは、その原稿ファイルに問題があるか、そのファイルで使用されているアプリケーションソフトの機能に問題がある可能性があります。別のアプリケーションソフトで作成した原稿を印刷するか、もう一度、原稿を作成し直してから印刷してみてください。 新しい原稿で問題がなければ、元の原稿ファイルに問題があったと考えられます。新しい原稿でも同じ症状があるときは、『ご相談窓口のご案内』を参照して、お客様相談センターにお問い合わせください。
プリンタドライバが正しくインストールされていない	プリンタドライバを削除し、『かんたんスタートガイド』の手順にしたがって、もう一度、インストールしてください。

●「エラー番号：＊300(＊は英字)」が表示されている Macintosh

原因	対処方法
プリンタの電源が入っていない	プリンタのランプが緑色に点灯しているか確認してください。
プリンタとコンピュータが正しく接続されていない	電源コードやケーブルはしっかりと接続してください。
ケーブルに異常がある	別のケーブルに交換して印刷してみてください。ケーブルの異常については、ケーブルの販売元にご相談ください。
USBハブなどに異常がある	USBハブなどを使って接続している場合は、これらを外してコンピュータと直接つないで印刷してみてください。 正常に印刷される場合は、USBハブの異常が考えられます。これらの販売元にご相談ください。
[セレクタ]が正しく設定されていない	次の手順でセレクタの設定を確認してください。 1.アップルメニューから[セレクタ]を選択する 2.ご使用のプリンタを選択し、[接続先]にご使用のプリンタが表示されているか確認する 表示されていない場合は、ご使用のプリンタを選択してください

note 上記の対処法にしたがって操作しても解決しない場合は、不必要な機能拡張書類やコントロールパネル書類を外して印刷してみてください。

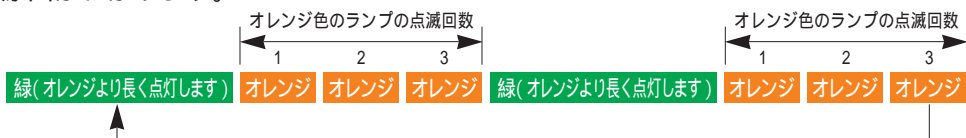
●「エラー番号：＊202(＊は英字)」が表示されている Macintosh

原因	対処方法
アプリケーションソフトに必要なメモリ容量が確保されていない。複数のアプリケーションソフトを起動している。	印刷のためのメモリが確保されずにエラーとなることがあります。他のアプリケーションソフトを起動している場合は、それらのアプリケーションソフトを終了し、もう一度印刷してください。

●「エラー番号：＊203(＊は英字)」が表示されている Macintosh

原因	対処方法
プリンタドライバが正しくインストールされていない	『かんたんスタートガイド』の手順にしたがって、もう一度、インストールしてください。

ランプが点滅している

エラーが発生すると、緑色とオレンジ色のランプが交互に点滅します。
緑色のランプが点灯する間にオレンジ色のランプが何回点滅するかによって、トラブルの原因がわかります。

上記の例では、オレンジ色のランプの点滅回数は3回になりますので、下表の「用紙がつまった」ときの対処方法をご覧ください。

オレンジ色のランプの点滅回数	原因	対処方法
2回	用紙がない／給紙できない	用紙がセットされていない場合や、用紙が引き込まれない場合は、用紙を正しくセットしてからプリンタのリセットボタンを押してください。 ➡「用紙をセットする」（p.23） ➡「オートシートフィーダの用紙が送られない」（p.49）
3回	用紙がつまった	つまった用紙を取り除いてプリンタのリセットボタンを押してください。 ➡「用紙がつまった」（p.49）
4回	インクがなくなった	インクタンクを交換します。 ➡「インクタンクを交換する」（p.26）
5回	プリントヘッドが正しく取り付けられていない	プリントヘッドホルダにしっかりとプリントヘッドを取り付けてください。 また、印刷する場合はプリントヘッドが取り付けられていることを、スキャンする場合はスキャナカートリッジが取り付けられていることを確認してください。
6回	プリントヘッドが取り付けられていない	プリントヘッドを取り付けてください。 プリントヘッドが取り付けられている場合は、プリントヘッドをいったん外し、接点部が汚れてないかを確認して、もう一度取り付けてください。
7回	プリントヘッドが故障している／他機種のプリントヘッドが取り付けられている	他機種用のプリントヘッドが取り付けられていないか、確認してください。 正しいプリントヘッドが取り付けられている場合は、いったん電源を切ってもう一度電源を入れ直してください。それでもエラーが解決しない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お買い上げいただいた販売店または、お近くの修理受付窓口にご相談ください。 ➡『ご相談窓口のご案内』
8回	廃インクタンクが満杯になりそう	内蔵されている廃インクタンクがそろそろ満杯になります。 プリンタのリセットボタンを押して、エラーを解除してください。しばらくは、このまま印刷を続けることができますが、廃インクタンクが満杯になると印刷できなくなります。早めに、お買い上げいただいた販売店または、お近くの修理受付窓口に廃インクタンクの交換を依頼してください。 ➡『ご相談窓口のご案内』 note 廃インクタンクは、プリントヘッドのクリーニング時に消費したインクをためるタンクです。

note
- 緑色のランプのみの点滅は、プリンタが動作中であることを示しています。そのままお待ちください。動作が完了すると、緑色のランプの点灯に変わります。
- 緑色とオレンジ色のランプが交互に点灯している場合はサービスが必要なエラーが発生しています。電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、しばらくしてから電源プラグをコンセントに接続して、電源ボタンを押してください。それでも同じようにランプが点灯する場合は、お買い上げいただいた販売店または、お近くの修理受付窓口にご相談ください。

印刷結果に満足できない

●印刷がかすれる/違う色になる

原因	対処方法
プリントヘッドが目づまりしている	プリントヘッドのメンテナンスを行ってください。 ➡「プリントヘッドをメンテナンスする」（p.27）
インクがなくなっている	インクの残量を確認し、インクがない場合は、インクタンクを交換してください。 ➡「インクタンクを交換する」（p.26）
インクタンクが正しく装着されていない	「カチッ」という音がするまで、しっかりと押してください。また、オレンジ色のテープを引いてフィルムをはがしたかどうかも確認してください。 ➡「インクタンクを交換する」（p.26）
一度外したオレンジ色の保護キャップをインクタンクに再び取り付けた	インクタンクをプリントヘッドに装着し、クリーニングを行ってください。
インクタンクの取り付け位置を間違えた	プリントヘッドホルダについているラベルをよく見て、正しい位置にインクタンクを取り付けてください。取り付け直したあとは、クリーニングを行ってください。
用紙の表裏を間違えて印刷した	用紙の表裏を確認し、印刷に適した面に印刷できるよう、用紙をセットしてください。
［印刷品位］が適切でない	[印刷品位]（Windows NT4.0/Windows 2000をお使いの場合は[印刷品質]）を変更してみてください ➡「プリンタドライバの設定画面について Windows 」（p.14） ➡「プリンタドライバの設定画面について Macintosh」（p.18）

●印刷面にこすれたあとがつく

原因	対処方法
紙間選択レバーが印刷する用紙にあわせて正しくセットされていない	使用する用紙の種類にあわせて、紙間選択レバーをセットしてください。 ➡「用紙をセットする」（p.24）
セットした用紙の枚数が多すぎる	オートシートフィーダ積載可能枚数を超えないよう、用紙をセットしてください。 ➡「用紙をセットする」（p.24）

note 紙間選択レバーの設定や用紙の積載枚数が正しい場合は、他の原因が考えられます。詳しくは『リファレンスガイド（CD-ROM）』をご覧ください。

●画面の色と色合いが違う

原因	対処方法
プリントヘッドが目づまりしている	プリントヘッドのメンテナンスを行ってください。 ➡「プリントヘッドをメンテナンスする」（p.27）
インクがなくなっている	インクの残量を確認し、インクがない場合は、インクタンクを交換してください。 ➡「インクタンクを交換する」（p.26）

原因	対処方法
インクタンクの取り付け位置を間違えた	プリントヘッドホルダについているラベルをよく見て、正しい位置にインクタンクを取り付けてください。取り付け直したあとは、クリーニングを行ってください。
プリンタドライバで、印刷の設定が適切に行われていない	[オートパレット]（Windows）または[印刷設定]（Macintosh）で、印刷する原稿に適したものを選んでください。また、[用紙の種類]の設定が、実際に使用するものとあっているかも確認してください。 ➡「プリンタドライバの設定画面について Windows 」（p.14） ➡「プリンタドライバの設定画面について Macintosh 」（p.18） note Windows NT4.0/Windows 2000をお使いの場合は、[用紙の種類]が実際に使用するものとあっているか確認してください。

note 画面とプリンタでは発色方法が異なります。また、画面を見ている環境や、画面の色調整によっても発色が異なるため、色合いは完全に同じものにはなりません。

●印刷した用紙がカールする／波打つ

原因	対処方法
薄い用紙を使用しているため、インクを十分に吸収できない。	印刷目的に適した用紙を使用してください。 ➡「使用できる用紙」（p.21）
濃度が高く設定されている	プリンタドライバで濃度を低く設定してください。 ➡『リファレンスガイド（CD-ROM）』

●文書の最後まで印刷されない

原因	対処方法
設定した用紙サイズと印刷した用紙のサイズが異なっている	プリンタドライバで設定している用紙サイズと異なるサイズの用紙に印刷すると、文書の一部が印刷されないことがあります。 また、用紙サイズを設定できるアプリケーションソフトを使用している場合、プリンタドライバの[用紙サイズ]の設定と同じかどうか、確認してください。

note 用紙サイズの設定が正しい場合は、他の原因が考えられます。詳しくは『リファレンスガイド(CD-ROM)』をご覧ください。

●色むらやすじのような模様がでる／きれいに印刷できない

原因	対処方法
プリントヘッドの位置がずれている	プリントヘッド位置を調整してください。 ➡「プリントヘッドの位置を調整する Windows」（p.37） ➡「プリントヘッドの位置を調整する Macintosh」（p.38）
［印刷品位］が適切でない	[印刷品位]（Windows NT4.0/Windows 2000をお使いの場合は[印刷品質]）を変更してみてください。 ➡「プリンタドライバの設定画面について Windows」（p.14） ➡「プリンタドライバの設定画面について Macintosh」（p.18）
［ディザリング］の設定が適切でない	[ディザリング]を[誤差拡散]に設定してみてください。 ➡『リファレンスガイド（CD-ROM）』 note Windows NT4.0/Windows 2000をお使いの場合は「操作説明」をお読みください。 ➡「Windowsをご使用の方へ」（p.1）

写真をもっときれいに印刷したい

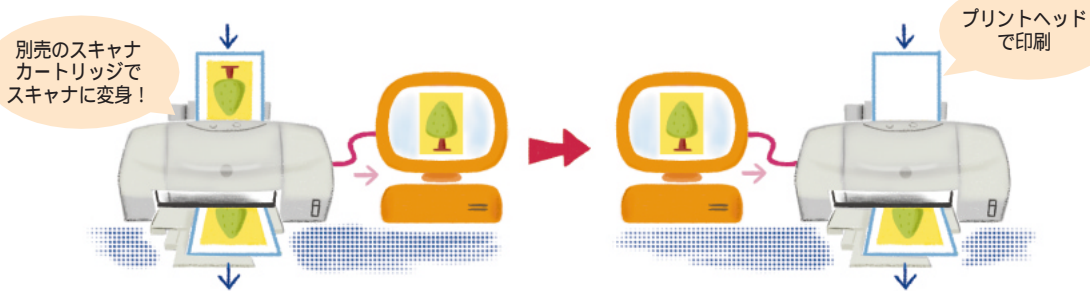
方法	説明
写真に適した用紙を使ってみる	写真用の専用紙を使ってみてください。キヤノン製の専用紙として、プロフェッショナルフォトペーパーやフォト光沢紙、フォト光沢フィルム、高品位専用紙などが用意されています。 ➡「使用できる用紙」(p.21)
プリントヘッドの位置を調整してみる	プリントヘッドの位置調整が正しく行われていないと、縦や斜めのむらになります。 ➡「プリントヘッドの位置を調整する Windows 」(p.37) ➡「プリントヘッドの位置を調整する Macintosh 」(p.38)
写真に適した[オートパレット](Windows)や[印刷設定](Macintosh)を選択する	Windows [オートパレット]で[スーパーフォト]を選んでください。デジタルカメラから取り込んだ写真の場合は、[デジカメ]を選んでください。 note Windows NT4.0/Windows 2000をお使いの方は[プリントアドバイザー]で[写真をきれいに印刷]を選んでください。 Macintosh [印刷設定]で を選んでください。
補正機能を使ってみる	オートフォトパーフェクト機能を使ってみましょう。 全体が暗く沈んでしまった写真(露出アンダー)や蛍光灯などの影響で色合いが変わってしまった写真に効果的です。 ➡『リファレンスガイド(CD-ROM)』の「写真の色合いを補正する」 note Windows NT4.0/Windows 2000をお使いの場合は「操作説明」をお読みください。 ➡「Windowsをご使用の方へ」(p.1)
[印刷品位]を調整してみる	[印刷品位](Windows NT4.0/Windows 2000をお使いの場合は[印刷品質])を調整してみてください。 ➡「プリンタドライバの設定画面について Windows 」(p.14) ➡「プリンタドライバの設定画面について Macintosh 」(p.18)

その他のトラブル

以下のトラブルと対処方法については『リファレンスガイド(CD-ROM)』をご覧ください。

- プリンタが認識されない
- 電源が入らない
- きれいにカラー印刷できない
- カラー印刷をしているのにモノクロで印刷される
- インクがにじむ
- グラデーションが帯状の色むらになる Macintosh
- 左上や右下にずれて印刷される
- ページの最後の部分が次のページにまたがって印刷される
- 拡大/縮小印刷が正しくできない
- 90 回転して印刷される
- 左右反転して印刷される
- 冊子印刷を指定したのに、レイアウトされずに印刷された Windows
- はがきが正しく給紙できない
- 封筒が正しく給紙できない
- 用紙が斜めに給紙される
- 用紙が何枚も重なって給紙される
- インクの減りかたが早い
- 罫線がまっすぐに印刷されない
- 文字や図形がギザギザになる Macintosh
- スタンプがうまく印刷できない Windows
- 背景が1ページ目だけに印刷される Windows
- 用紙がなくなった
- 手差し給紙ができない
- プリントヘッドホルダが交換位置に移動しない
- BJステータスモニタが表示されない Windows
- バックグラウンド印刷ができない

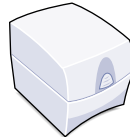
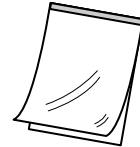
◯スキャナカートリッジIS-52を使う

別売のスキャナカートリッジ（IS-52）を取り付けると、プリンタをスキャナとして使うことができます。ここでは、スキャナカートリッジ用ソフトウェアのインストールと、写真の読み取りから印刷するまでの手順をご紹介します。
スキャナカートリッジ用ソフトウェアの詳しい使いかたについては『リファレンスガイド（CD-ROM)』に入っている『IS-52リファレンスガイド』をご覧ください。

note スキャナで読み取った書類、楽譜、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人として使用する以外は著作権法により著作者には無断で使用できません。
下記のものは、スキャナで読み取るだけで、法律により罰せられます。
紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券、外国において流通する紙幣・貨幣・証券類、未使用郵便物切手、官製はがき類、政府発行の印紙、酒税法で規定の証券類、民間発行の有価証券、定期券、回数券など。

●用意するもの

次のものを用意してください。

カラーイメージスキャナ
カートリッジ(IS-52)

保管箱

取り外したプリントヘッドやスキャナカートリッジを入れておきます。

スキャニングホルダ

スキャナカートリッジに付属しています。読み取りを行うときは、原稿が折れたり引っかからないよう、必ず、このスキャニングホルダに原稿をはさんでください。

note A4サイズを読み取るためのスキャニングホルダ（SH-101）も別売で用意されています。

プリンタドライバ／リファレンスガイド
（CD-ROM）

印刷する用紙

写真(サービス版)

スキャナで読み取りたい写真を用意してください。

白基準シート

スキャナカートリッジに付属しています。スキャナが正しい色で読み取れるよう調整する（白基準補正を行う）ためのシートです。スキャナをはじめて使うときは、このシートで白基準補正を行います。

●スキャナカートリッジ用ソフトウェアをインストールする　Windows

次の手順で、スキャナカートリッジ用ソフトウェアをインストールします。

- Windows NT4.0／Windows 2000をインストールする場合は、Administrators権限が必要です。
- スキャナカートリッジ用ソフトウェアをインストールするには、プリンタドライバがインストールされている必要があります。
- 以前、スキャナカートリッジ用ソフトウェアをインストールしたことがある場合、古いソフトウェアを削除してからインストールしてください。

1 コンピュータの電源を入れ、『プリンタドライバ/リファレンスガイド(CD-ROM)』をセットする

note プログラムが自動起動しない場合は、次の手順で操作してください。
❶デスクトップにある［マイコンピュータ］をダブルクリックする
❷ をダブルクリックする

2 [ソフトウェアのインストール]をクリックする

3 [IS Scanソフトウェア]をクリックし、ボタンが赤く点灯しているのを確認したら、[スタート]をクリックする

4 [標準インストール]が選択されていることを確認して[次へ]をクリックする

note TWAIN対応アプリケーションからのみスキャナをお使いの場合は、[TWAINドライバだけをインストールする]を選択することもできます。

5 インストール先を確認し、[次へ]をクリックする

6 インストールの終了画面が表示されたら[OK]をクリックする

note 再起動を要求するメッセージが表示された場合は、コンピュータを再起動してください。

7 画面右下の[終了]をクリックする

note インストールが終わったら、スキャナカートリッジ（IS-52）を使って、写真を読み取ってみましょう。
➡「スキャナカートリッジ（IS-52）を取り付ける」（p.59）

●スキャナカートリッジ用ソフトウェアをインストールする Macintosh

次の手順で、スキャナカートリッジ用ソフトウェアをインストールします。

note Mac OS 9をご使用の場合、マルチユーザ環境で、「制限付き利用者」または「パネル利用者」としてお使いの方は、IS Scanソフトウェアはインストールできません（TWAINドライバのみ、インストールできます）。
「制限付き利用者」または「パネル利用者」がTWAINドライバをインストールする方法、および、スキャナを使用する方法については、『プリンタドライバ/リファレンスガイド（CD-ROM）』の[スキャナドライバ]フォルダにある、[お読みください]をご覧ください。

1 コンピュータの電源を入れ、『プリンタドライバ/リファレンスガイド(CD-ROM)』をセットする

2 [スキャナドライバ]のフォルダをダブルクリックする

3 [インストーラ]のアイコンをダブルクリックする

4 [使用許諾契約書]の内容を読んで、同意する場合は[同意する]をクリックする

5 インストール先を確認して、[インストール]をクリックする

インストールが始まります。

note
・再起動を要求するメッセージが表示された場合は、コンピュータを再起動してください。
・インストールが終わったら、スキャナカートリッジ（IS-52）を使って、写真を読み取ってみましょう。
➡「スキャナカートリッジ（IS-52）を取り付ける」（p.59）

●スキャナカートリッジ(IS-52)を取り付ける

スキャナカートリッジ(IS-52)は、プリントヘッドを取り外したあとに取り付けます。

1 プリンタの電源を入れ、フロントカバーを開ける

プリントヘッドが交換位置(中央部)まで自動的に移動します。

2 プリントヘッドを取り外す

プリントヘッド固定レバー（青色のレバー）を上げ、プリントヘッドの両端を持って上に引き上げてください。

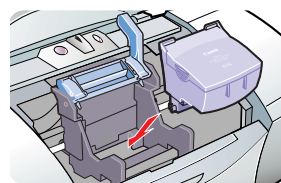
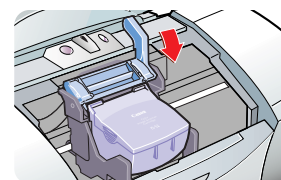
⚠ 注意 プリントヘッドの金属部分には触れないでください。印刷直後には熱くなっている場合があり、やけどの原因になります。

禁止 プリントヘッドのインクが吐出する部分には触れないでください。正しく印刷できなくなることがあります。また、プリントヘッドを落としたり、振ったりしないでください。インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。

note
・取り外したプリントヘッドは、必ず保管箱に入れてください。
保管箱に入れずに放置すると、印刷できなくなることがあります（保管箱はプリントヘッドとスキャナカートリッジで共用です）。
・より高い印刷品質を保つために、スキャナカートリッジ使用後は、すみやかにプリントヘッドをプリンタに取り付けてください。

3 スキャナカートリッジを取り付ける

スキャナカートリッジの両端を持ち、IS-52のラベルを上面手前側にして、プリントヘッドホルダに差し込みます。

禁止 スキャナカートリッジの読取り部（透明なレンズの部分）や、電極部(金属部分)には触れないようにしてください。汚れや静電気で正しい読み取りができなくなることがあります。

4 プリントヘッド固定レバーを下げる

5 フロントカバーを閉じる

●写真を読み取る

ここでは、IS Scan を単独で起動し、カラー写真を読み取って保存する操作を説明します。
なお、はじめて画像を読み取るときは、読み取りの基準となる白色の値を設定する必要があります(白基準補正)。白基準補正を行わないと、適正な色で画像を読み取ることができません

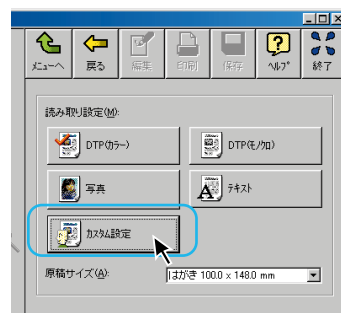
note **TWAIN対応のアプリケーションソフトからIS Scanを使う方法については、『プリンタドライバ／リファレンスガイド（CD-ROM)』に入っている『IS-52リファレンスガイド』をご覧ください。**

1 画像読み取りソフトウェアを起動する

Windows Windowsの[スタート]メニューをクリックし、[プログラム]、[IS Scan Plus]、[IS Scan Plus]の順に選択します。

Macintosh [IS Scanフォルダ]にある[IS Scan]をダブルクリックします。

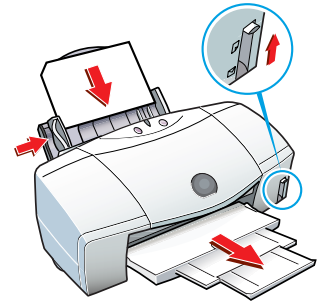
2 白基準補正を行う

❶ Windows 画面左のメニューから[画像を取り込もう]（ ）をクリックし、表示された画面で[カスタム設定]をクリックする

Macintosh [メニュー]をクリックし、[設定]を選ぶ

❷ 画面右下の[白基準補正]をクリックする

❸ 白基準シートをセットする

右図を参考にして白基準シートをオートシートフィーダにセットしてください。

紙間選択レバーが上(▯)にセットされ、排紙トレイが引き出されていることを確認します。

❹ [OK]をクリックする

白基準補正が実行されます。白基準シートが排出されたら、白基準補正は終了です。

❺ Windows [OK]をクリックする

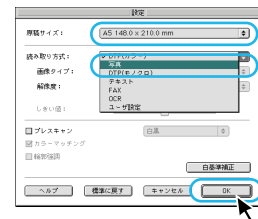
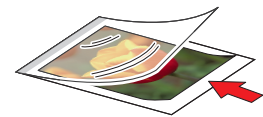
Macintosh 手順 *3*に進んでください。

❻ Windows [戻る]（戻る）をクリックする

IS Scan Plusのメイン画面に戻ります。

3 写真を読み取る

❶ Windows 画面左のメニューから[写真を取り込もう]（ ）をクリックする

Macintosh [原稿サイズ]で[A5]を選び、[読み取り方式]を[写真]に設定して[OK]をクリックする

❷ 写真をスキャニングホルダにはさむ

❸ 右図を参考にしてスキャニングホルダをセットする

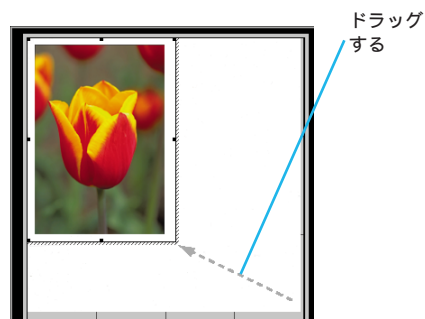
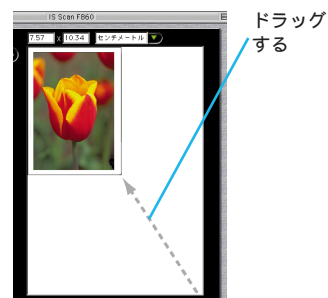
スキャニングホルダをオートシートフィーダにセットします。

❹ [スキャン]をクリックする

読み取りが始まります。画面に読み取られた画像が表示されます。

4 読み取った画像を保存する

❶ 保存する範囲を調整する

Windows 四隅と線上の■をドラッグして保存する範囲を指定します。

Macintosh 画像が表示されているウィンドウの四隅と線上にポインタをあわせると矢印の形が変わります。この矢印をドラッグして保存する範囲を指定します。

❷ [保存]をクリックする

❸ 保存する場所を指定し、ファイル名を入力して、[保存]をクリックする

5 Windows 印刷を行う場合は、このままの画面で次の手順に進む

終了する場合は、[終了]をクリックします。

Macintosh 画面左上のクローズボックスをクリックし、IS Scanを終了する

note より高い品質を保つため、読み取りが終わったら、すみやかにスキャナカートリッジからプリントヘッドに交換してください。

➡「プリントヘッドを取り付ける」(p.62)

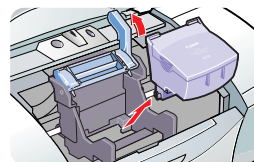
●プリントヘッドを取り付ける

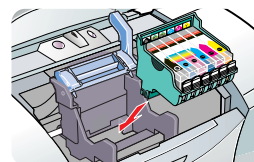
スキャナカートリッジをプリントヘッドに交換しましょう。

1 フロントカバーを開ける

2 スキャナカートリッジを取り外す

プリントヘッド固定レバー（青色のレバー）を上げ、スキャナカートリッジの両端を持って上に引き上げてください

note 取り外したスキャナカートリッジはプリントヘッドと交換して保管箱に入れてください。

3 プリントヘッドを取り付ける

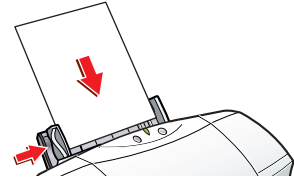
プリントヘッドの両端を持ち、プリントヘッドホルダに差し込みます。

4 プリントヘッド固定レバーを下げる

5 フロントカバーを閉じる

●印刷する

読み取った画像を印刷しましょう。

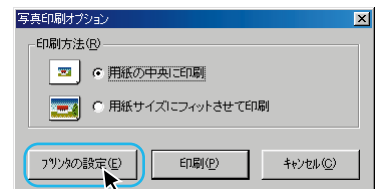
1 用紙をセットする

➡「用紙をセットする」（p.23）

2 印刷する

Macintosh ➡p.64

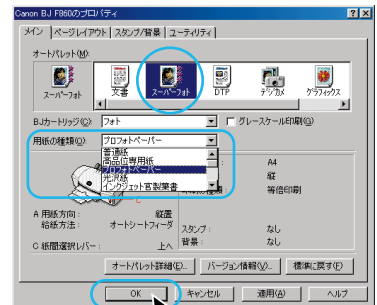
Windows

❶ [印刷]をクリックする

❷ [プリンタの設定]をクリックする

❸ [プロパティ]をクリックする

❹ [スーパーフォト]をクリックし、[用紙の種類]から印刷する用紙を選んで、[OK]をクリックする

➡「プリンタドライバの設定画面について」（p.14）

note Windows NT4.0/Windows 2000をお使いの場合は、［用紙の種類］から印刷する用紙を選んで、[OK]をクリックしてください。

❺ [OK]をクリックする

❻ プリンタのランプが緑色に点灯していることを確認し、[印刷]をクリックする

印刷が始まります。

❼ ［終了］（ ）をクリックする

付録

Macintosh

❶「SimpleText」など、画像を開けるアプリケーションソフトで、保存した画像ファイルを開く

❷[ファイル]メニューの[プリント]をクリックする

❸[用紙の種類]から印刷する用紙を選ぶ

❹[印刷設定]で（写真アイコン）を選ぶ

❺プリンタのランプが緑色に点灯していることを確認し、[プリント]をクリックする

印刷が始まります。

◯印刷速度を速くしたいときは（プリンタケーブル接続） Windows

プリンタケーブルで接続している場合、コンピュータからプリンタにデータを送る形式を「ECPモード」という形式に設定すると、印刷を高速化できます（お使いのコンピュータによっては、印刷速度が変わらない場合があります）。
次の手順で設定してください。

●ECPモードに設定する前に

以下の項目を確認してください。

- **コンピュータのプリンタポート（パラレルポート）がECPに対応していますか？**
  コンピュータの仕様については、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
- **コンピュータのBIOSで、パラレルポートがECPモードに設定されていますか？**
  BIOSの設定・確認方法は、コンピュータによって異なります。BIOSの設定・確認方法については、お使いのコンピュータに付属の説明書をご覧ください。
- **プリンタケーブル（パラレルケーブル）で接続していますか？**
- **プリンタドライバのインストールは終わっていますか？**

●ECPモードを使う

ECPモードで印刷をするには、次の手順で設定してください。

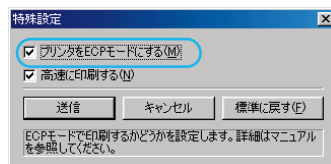
1 **Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[設定]、[プリンタ]の順に選択する**

2 **ご使用のプリンタ名を選択し、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選ぶ**

3 **[ユーティリティ]タブをクリックし、[特殊設定]をクリックする**

note Windows NT4.0/Windows 2000の場合、画面が多少異なります。

4 **[プリンタをECPモードにする]をクリックし、☑（オン）にする**

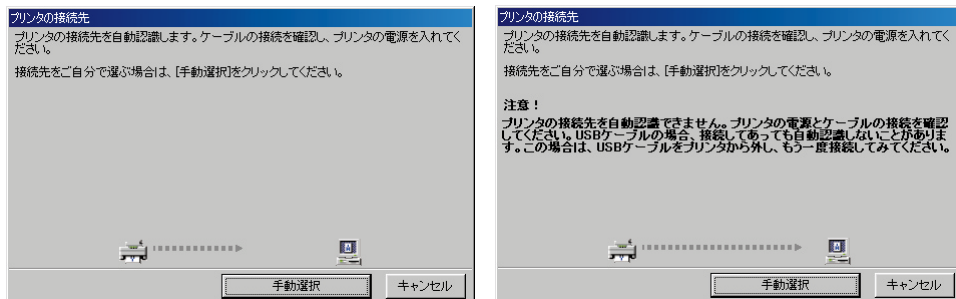
note Windows NT4.0/Windows 2000の場合、画面が多少異なります。

5 **[送信]をクリックし、確認メッセージで[OK]をクリックする**

ECPモードで印刷がうまくできない場合は、同様の手順で[プリンタをECPモードにする]を☐（オフ）にして、[送信]をクリックしてください。その後、プリンタの電源を入れ直すと、元のモードに戻ります。

note Windows 95をご使用の場合、ECPモードを解除しても、うまく印刷できないことがあります。この場合は、ヘルプにあるトラブルシュートの「Canon BJプリンタポートでうまく印刷できない」をご覧ください。
➡「プリンタドライバのヘルプの使いかた Windows 」（p.8）

付録

◯インストールの途中で先の画面に進めなくなったときは（USBケーブル接続） Windows

プリンタドライバのインストールを行っている途中で、下の画面の指示通りにプリンタの電源を入れても、先の画面に進めない場合は、次の手順で操作してください。

1 上の画面で[キャンセル]をクリックする

2 メッセージを確認して[中止]をクリックする

3 [OK]をクリックする

4 プリンタの電源を切る

5 『かんたんスタートガイド』の「プリンタドライバをインストールしましょう」にある手順6 以降の操作をもう一度行う

➡『かんたんスタートガイド』の「プリンタドライバをインストールしましょう」（p.15）

note それでも上の画面から先に進めない場合には、次項目の手順にしたがってドライバの状態を確認してください。

➡「ドライバの状態を確認する」（p.66）

●ドライバの状態を確認する

次の手順にしたがって、インストールされているドライバの状態を確認してください。

1 上の画面で[キャンセル]をクリックする

2 メッセージを確認して[中止]をクリックする

3 [OK]をクリックする

4 [終了]をクリックしてドライバのインストールを終了する

5 USBケーブルでコンピュータとプリンタが接続されていることを確認する

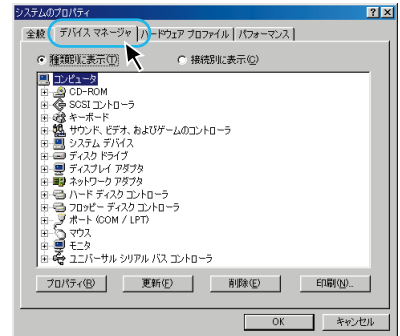
6 プリンタの電源が入っていることを確認する

7 Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[設定]、[コントロールパネル]の順に選択する

8 [システム]アイコンをダブルクリックする

note Windows Meをお使いの方で［システム］アイコンが表示されない場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する］をクリックしてください。

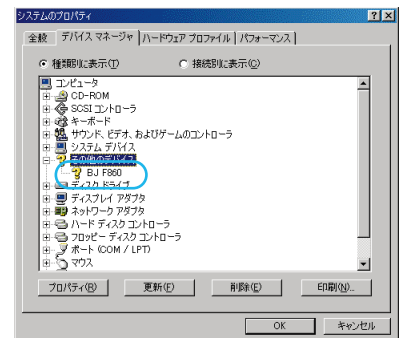
9 [デバイス マネージャ]タブをクリックする

note Windows 2000をお使いの方は、［ハードウェア］タブをクリックし、[デバイス マネージャ]をクリックしてください。

10 [ユニバーサル シリアル バス コントローラ]をダブルクリックする

右図のように機種名に「！」マークがついた状態（ ）になっている場合は、USBドライバが正しくインストールされていません。次項目の手順にしたがって、不正なデバイスを削除してください。

➡「不正なデバイスを削除する」（p.68）

11 [その他のデバイス]が表示されている場合は、[その他のデバイス]をダブルクリックする

右図のようにプリンタ名が表示されている場合や(Windows 98 / Windows Me)、[不明なデバイス]という表示がある場合は(Windows 2000)、ドライバが正しくインストールされていません。次項目の手順にしたがって、不正なデバイスを削除してください。

➡「不正なデバイスを削除する」（p.68）

●不正なデバイスを削除する

次の手順にしたがって、不正なデバイスを削除してください。

禁止 操作は以下の画面を見ながら慎重に行ってください。異なる項目を削除したり、誤った操作を行うと、Windowsが正常に動作しなくなることがあります。

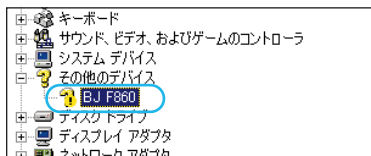
note **以下の操作を行う前に、USBケーブルでコンピュータとプリンタが接続され、プリンタの電源が入っていることを確認してください。**

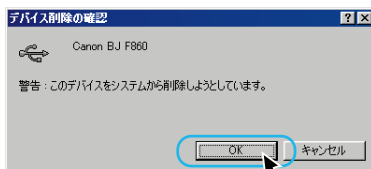
1 不正なデバイスを選択し、[削除]をクリックする

右図のように選択し、[削除]をクリックしてください。

note **Windows 2000をお使いの方は、[不明なデバイス]を選択し、[操作]メニューから[削除]を選んでください。**

●ユニバーサル シリアル バス コントローラに不正なデバイスがある場合

●その他のデバイスに不正なデバイスがある場合

2 確認のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする

右図は[ユニバーサル シリアル バス コントローラ]にある不正なデバイスを削除する場合の画面例です。

3 [閉じる]をクリックする

note **Windows 2000をお使いの方は、☒をクリックし、[システムのプロパティ]に戻ったら、[OK]を選択してください。**

4 画面右上の☒をクリックして、コントロールパネルを閉じる

5 プリンタの電源を切る

6 『プリンタドライバ／リファレンスガイド(CD-ROM)』がセットされている場合は取り出す

7 Windowsを再起動する

8 『かんたんスタートガイド』の「プリンタドライバをインストールしましょう」の手順を行う

➡『かんたんスタートガイド』の「プリンタドライバをインストールしましょう」（p.12）

◎仕様

●プリンタ本体

項目	区分	内容	内容
印刷方式		シリアルバブルジェット方式	
印刷解像度		最高1200(横)×1200(縦)　dpi	
印刷速度(弊社標準パターンにて測定)	ブラック印刷	高　速：3ppm　　標　準：2.9ppm	
	カラー印刷	高　速：3ppm　　標　準：1.6ppm	
	フォト印刷	高品位：0.32ppm	
	印刷速度は文書の内容やコンピュータの処理速度により異なります。		
印刷方向		双方向	印字幅：最長　203mm
動作モード		キヤノン拡張モード	受信バッファ：80KB
インタフェース		IEEE 1284準拠パラレルインタフェース(ECP対応)	ユニバーサルシリアルバス(USB)
インタフェースコネクタ		アンフェノール57-40360相当	USB(シリーズB)レセプタクル
推奨プリンタケーブル	素　材	AWG28以上	AWG28以上
	タイプ	ツイストペアシールド付きケーブル	ツイストペアシールドケーブル(フルスピードモード対応)
	長　さ	最大2.0m	最大2.0m
	コネクタ	アンフェノール30360相当	USB(シリーズB)プラグ
動作音		約37dB（最高品位モード時）	
動作環境		温　度：5℃～35℃ / 湿　度：10%RH～90%RH　(ただし結露がないこと)	
保存環境		温　度：0℃～35℃ / 湿　度：5%RH～90%RH　(ただし結露がないこと)	
電源		AC100V　50/60Hz	
消費電力		待機時：約5W　/　印刷時：約23W	
寸法		450(横)mm × 333(奥行)mm × 208(高さ)mm (用紙サポート、排紙トレイを格納した状態)	
質量		本体　約5.9kg	
給紙方法	連続給紙	普通紙、高品位専用紙、官製はがき、フォト光沢ハガキ、封筒(洋形4号、洋形6号)	
		プロフェッショナルフォトペーパー、プロフェッショナルフォトはがき、プロフェッショナルフォトカード	
		フォト光沢紙、フォト光沢カード、バナー紙(長尺紙)、OHPフィルム、フォト光沢フィルム、Tシャツ転写紙	
	手差し給紙	厚紙	
オートシートフィーダ積載枚数		普通紙(75g/m²のとき)：最大100枚(厚さ10mm)　高品位専用紙(HR-101S)：最大80枚 官製はがき、フォト光沢ハガキ(KH-201N)：最大40枚 プロフェッショナルフォトはがき(PH-101)、プロフェッショナル フォトカード(PC-101 L)：最大20枚 封筒、フォト光沢紙(GP-301)、OHPフィルム(CF-102)：最大10枚 プロフェッショナル フォトペーパー(PR-101)、プロフェッショナル フォトカード(PC-101 D / PC-101 2L / PC-101 W)、フォト光沢カード(FM-101)、フォト光沢フィルム(HG-201)、Tシャツ転写紙(TR-201)：1枚 バナー紙(長尺紙)：1セット(最長6枚分)	
使用できる用紙	サイズ	A4、A5、B5、Legal、はがき、洋形4号、洋形6号、Letter	
	重　さ	オートシートフィーダ　64g/m²～105g/m²	
		手差し給紙　64g/m²～500g/m²	
	厚　さ	0.6mm以下	
グラフィックイメージ印刷	データ構成	キヤノン拡張モード：ラスタイメージフォーマット	
	解像度	キヤノン拡張モード：300、600、1200 dpi	
プリントヘッド		ノズル数：各色256	

インクタンク

インクタンク	インクタンクごとの印刷可能枚数 ※1	※2	※3	※4
ブラックインクタンク(BCI-6Bk)	680枚	1490枚	1170枚	1220枚
シアンインクタンク(BCI-6C)	—	800枚	1040枚	1140枚
マゼンタインクタンク(BCI-6M)	—	650枚	910枚	810枚
イエローインクタンク(BCI-6Y)	—	430枚	400枚	470枚
フォトシアンインクタンク(BCI-6PC Photo)	—	—	210枚	460枚
フォトマゼンタインクタンク(BCI-6PM Photo)	—	—	160枚	290枚

※1 Windows 95/Windows 98/Windows Meドライバのオートパレットで「文書」を選択して、JEIDA標準パターンJ1を普通紙に印刷した場合
※2 Windows 95/Windows 98/Windows Meドライバのオートパレットで「文書」を選択して、ISO JIS-SCID No.5を普通紙に印刷した場合
※3 Windows 95/Windows 98/Windows Meドライバのオートパレットで「スーパーフォト」を選択して、ISO JIS-SCID No.5を高品位専用紙に印刷した場合
※4 Windows 95/Windows 98/Windows Meドライバのオートパレットで「スーパーフォト」を選択して、ISO JIS-SCID No.5を普通紙に印刷した場合

●印刷できる範囲

プリンタは印刷の品質を維持するため、用紙の上下左右に余白を設けています。実際に印刷できる範囲は、これらの余白を除いた部分となります。用紙サイズによって、印刷できる範囲が異なりますのでご注意ください。ここでは、A5、A5横、A4、B5、はがきの用紙について説明します。

note **他の用紙については、『リファレンスガイド(CD-ROM)』をご覧ください。**

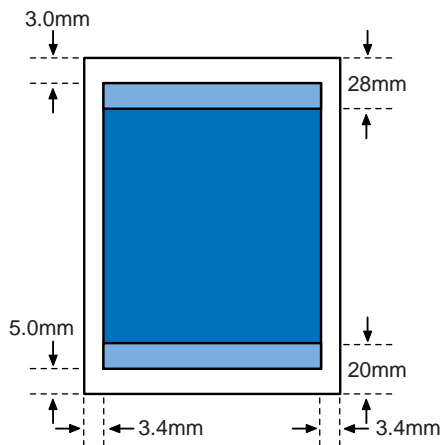
➡『リファレンスガイド(CD-ROM)』の「印刷できる範囲」

印刷できる範囲には、印刷推奨領域と印刷可能領域があります。

印刷推奨領域 ： この範囲に印刷することをお勧めします。（　　の部分）

印刷可能領域 ： 印刷できる範囲です。ただし、印刷の品位または用紙送りの精度が低下することがあります。（　　の部分）

印刷可能領域（幅×長さ）

	単位：mm
A5	141.2×202.0
A5横	203.2×140.0
A4	203.2×289.0
B5	175.2×249.0
はがき	93.2×140.0

●スキャナカートリッジ IS-52　(別売)

カラー方式			バンド順次式(面順次)			
読み取りセンサ			CCD			
光源			3色LED(RGB)			
読み取り解像度			600×600dpi、300×300dpi、200×200dpi、150×150dpi、75×75dpi			
読み取り幅			最長208.2mm			
読み取りバンド幅			最長10.8mm			
読み取り時間※1			600dpi	300dpi	150dpi	75dpi
	A4	カラー	12分1秒	3分8秒	2分23秒	2分10秒
		モノクロ2値	1分21秒	44秒	33秒	32秒
		モノクロ多値	4分7秒	1分6秒	51秒	46秒
	はがき	カラー	3分30秒	1分3秒	53秒	48秒
		モノクロ2値	20秒	14秒	12秒	11秒
		モノクロ多値	1分13秒	23秒	19秒	18秒
読み取り原稿厚			最大0.25mm			
出力データ			B/W：binary、Color：24bit、モノクロ多値：8bit			
寸法・質量			約83mm(W)×約82mm(D)×約76mm(H)、約150g			
スキャナドライバ			IS Scan(TWAIN対応)			
動作環境		OS	Windows 95※2/Windows 98/Windows Me/Windows NT4.0※2/Windows 2000、Mac OS 8.1以上			
		インタフェース	パラレル(IEEE1284準拠)、USB※2			
		ディスプレイ	カラー256色以上、640×480ドット以上			
		メモリ	16Mバイト以上(32MB以上推奨)			
		空ディスク	50Mバイト以上(さらに保存する画像の容量分)※3			

※1：読み取り時間は、コンピュータへの転送時間、原稿の給紙および排紙時間を含みません。
※2：USBインタフェースは、Windows 95/Windows NTでは対応していません。
※3：インストール時に必要な空き容量は以下のとおりです。
Windows 対応 IS Scanは約5Mバイト。IS Scan Plusは約10Mバイト。
Mac OS 対応 IS Scanは約8Mバイト。Copy Utilityは約400kバイト。

◎プリンタドライバの動作環境

●コンピュータ本体

- Microsoft Windows 95 日本語版、Microsoft Windows 98 日本語版、Microsoft Windows Me 日本語版、Microsoft Windows NT 4.0 日本語版、Microsoft Windows 2000 日本語版が動作するコンピュータ（25ピン パラレルインタフェースまたはUSBインタフェースをもつDOS/V機およびNEC PC-9800シリーズ）
- USBインタフェースを標準搭載したMacintoshシリーズ（Mac OS 8.1（日本語版）以上がプレインストールされている必要があります）

●基本ソフトウェア

- Microsoft Windows 95 日本語版、Microsoft Windows 98 日本語版、Microsoft Windows Me 日本語版、Microsoft Windows NT 4.0 日本語版、Microsoft Windows 2000 日本語版
- Mac OS 8.1（日本語版）以上。ただし、Mac OS 8.1がインストールされている iMacの場合は、アップルコンピュータ株式会社のホームページで配布されている iMacアップデート1.0を使ってアップグレードされている必要があります。

●インストール時に必要なハードディスクの空き容量（一時的に使用する領域を含む）

- Windows 95/Windows 98/Windows Me：44Mバイト
- Windows NT 4.0/Windows 2000：25Mバイト
- Mac OS：30Mバイト

●WindowsでのUSB接続

Windows でUSB接続をするためには、コンピュータメーカーによりUSBポートの動作が保証され、かつ次のいずれかの条件を満たしていることが必要です。

- Windows 98、Windows Me、またはWindows 2000が、購入時にプレインストールされている
- Windows 98からWindows MeまたはWindows 2000にアップグレードしている
（Windows 95からアップグレードしている場合は除く）

note　Windowsをお使いの場合、以下の条件では、BJステータスモニタは使用できません。
- 双方向通信に対応していないコンピュータやプリンタケーブル（パラレルケーブル）の場合
- 本機をネットワークプリンタとして使用する場合

◎環境基本性能

消費電力	待機時電力：約5W
資源効率	本体質量：約5.9kg 本体寸法（W×D×H）：450×333×208mm 再生資源の使用：あり リサイクル：BJカートリッジ/インクタンク実施、本体外装プラスチック材再生利用技術確立
製品安全	含有有害物質　全構成部品：特定臭素系難燃剤（PBB,PBDE）不使用 外装プラスチック：重金属（Pb、Hg、Cr(VI)、Cd）、ハロゲン系難燃剤不使用 稼動音：約37dB（A）（最高品位印刷時）
包装材	含有重金属（Pb、Hg、Cr(VI)、Cd）：不使用（外装箱） リサイクル：容器包装リサイクル法のシステムによる（2000年4月より）
規格適合	国際エネルギースタープログラム、VCCI（クラスB）

◎お問い合わせの前に

本書または『リファレンスガイド（CD-ROM）』の「困ったときには」の章を読んでもトラブルの原因がはっきりしない場合は次の要領でお問い合わせください。

プリンタの故障の場合は？

どのような対処をしてもプリンタが動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、プリンタの故障と考えられます。

お買い上げいただいた販売店またはお近くの修理受付窓口に修理を依頼してください。
別紙の「ご相談窓口のご案内」をご覧ください。

コンピュータなどのシステムの問題は?

プリンタの動作が正常に動作し、プリンタドライバのインストールも問題なければ、プリンタケーブルやコンピュータシステム（OS、メモリ、ハードディスク、インタフェースなど）に原因があると考えられます。

コンピュータを購入された販売店もしくは、コンピュータメーカーとご相談ください。

アプリケーションソフトの問題のようだけど?

特定のアプリケーションソフトで起きるトラブルは、アプリケーション固有の問題と考えられます。プリンタドライバを最新のバージョンにバージョンアップすると問題が解決する場合があります。

アプリケーションソフトメーカーの相談窓口にご相談ください。

プリンタドライバのバージョンアップの方法は、別紙の「最新プリンタドライバの入手方法」をご覧ください。

修理の依頼方法について

●窓口へお持ちいただく場合

お買い上げいただいた販売店、または弊社修理受付窓口にお持ち込みください。

●修理窓口へ宅配便で送付していただく場合

商品が輸送中の振動で損傷しないように、なるべくご購入いただいたときの梱包材をご利用ください。他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れて、商品がガタつかないようにしっかりと梱包してください。

お願い： 保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。
保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は製品の製造打ち切り後約7年間です。

使用済みのインクタンク回収のお願い

キヤノンでは、資源の有効活用のために、使用済みインクカートリッジ並びにインクタンクの回収を推進しています。この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
キヤノンの環境保全と資源の有効活用の主旨にご賛同いただければ、お手数ですが、使用済みのインクカートリッジ並びにインクタンクを、最寄りのキヤノンカートリッジ回収協力店またはキヤノン販売営業所までお持ちください。
なお最新の回収窓口一覧、ならびに詳しいご案内につきましては、キヤノン販売ホームページにてご覧いただけます。
http://www.canon-sales.co.jp/ecology/crg_rcle.html

お問い合わせシート

ご相談の際にはすみやかにお答えするために予め下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせくださいますようお願いいたします。また、かけまちがいのないよう電話番号はよくご確認ください。

【プリンタの接続環境について】
BJプリンタと接続しているコンピュータの機種（　　　　　　　　）
内蔵メモリ容量（　　　　MB）／ハードディスク容量（　　　　MB）
使用しているOS：Windows □2000 □Me □98 □95 □3.1 □NT（Ver.　　）□MS-DOS
□その他（　　　　　　）
コンピュータ上で選択しているプリンタドライバの名称（　　　　　　　　　）
ご使用のアプリケーションソフト名およびバージョン（　　　　　　　　　）
接続方法：□直結 □ネットワーク（種類：　　　　　　）□その他（　　　　　　　）
接続ケーブルメーカー（　　　　　　　　　　　）／品名（　　　　　　　　　）

【プリンタの設定について】
プリンタドライバのバージョンNO.（　　　　　　　　）
コンピュータ上プリンタ設定のバージョン情報で確認できます。
ご使用の動作モード：□BJ □ESC/P □PC- PR201 □その他（　　　　　　　）

【エラー表示】
エラーメッセージ（できるだけ正確に）（　　　　　　　　　　　　　　　　　）
エラー表示の場所：□パソコン　　　　□プリンタ

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律： 刑法 第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法 第1条、第2条
等

QA7-1371-V01 092000AB50